

学生の確保の見通しを記載した書類（資料目次）

【資料1】

九州共立大学 スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科（仮称）」設置に係る学生確保の見通し調査（設置構想についての学生確保アンケート調査）報告書

【資料2】

リクルート18歳人口推移、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向2022 都道府県別11九州沖縄エリア

【資料3】

九州共立大学 スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科（仮称）」設置に係る人材需要の見通し調査（設置構想についての人材需要アンケート調査）報告書

九州共立大学
スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科（仮称）」
設置に係る学生確保の見通し調査
（設置構想についての学生確保アンケート調査）
報告書

令和5年2月

株式会社高等教育総合研究所

九州共立大学
スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」
設置に係る学生確保の見通し調査
(設置構想についての高校生アンケート調査)

報告書 目次

1. 高校生アンケート調査 実施概要	3
2. 高校生アンケート調査 集計結果	4
3. 高校生アンケート調査 集計結果ポイント	7
(添付資料)	
高校生アンケート調査用紙(紙方式)	11
スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」概要(紙方式)	13
高校生アンケート調査回答画面(Web方式)	14

1. 高校生アンケート調査 実施概要

調査対象	九州共立大学がスポーツ学部を設置構想中の「こどもスポーツ教育学科(仮称)」への入学が見込まれる、福岡県をはじめとする九州地方ならびに山口県等の高校に、高校2年生(令和4年度時点)を対象とした高校生アンケート調査の実施を依頼し、50校から実施協力を得た。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答者の基本情報(性別、居住地) ● 回答者の希望進路、九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」と特色への興味 ● 九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」への受験・入学意向 他 全7問ですべて選択肢式。
調査時期	令和4(2022)年11月～令和5(2023)年1月
調査方法	高校側の希望に基づき、紙方式・WEB方式のいずれかでアンケート調査を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ● 紙方式の場合、アンケート用紙・映像学部リーフレットを必要部数送付。ホームルームで配付の上、その場で回答し回収いただいた。 ● WEB方式の場合、担当教員のメールアドレスにアンケート調査サイトURLおよびアクセス用QRコードを送付。自校対象生徒のタブレット端末等に配信の上、原則その場で回答し送信するよう促していただいた。
回答件数	有効回答数6,007人

2. 高校生アンケート調査 集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 あなたがお住まいの県をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク) 1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比(%)
1	福岡県	2,999	49.9%
2	佐賀県	804	13.4%
3	長崎県	273	4.5%
4	熊本県	148	2.5%
5	大分県	418	7.0%
6	宮崎県	272	4.5%
7	鹿児島県	590	9.8%
8	沖縄県	4	0.1%
9	広島県	1	0.0%
10	山口県	347	5.8%
11	愛媛県	126	2.1%
12	その他	11	0.2%
	無回答	14	0.2%
合計		6,007	100.0%

問2 あなたの性別をお答えください。(あてはまるものにマーク)

選択肢		回答数	構成比(%)
1	男性	2,993	49.8%
2	女性	2,818	46.9%
3	答えたくない	127	2.1%
	無回答	69	1.1%
合計		6,007	100.0%

問3 あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。(現時点で最もあてはまるもの1つにマーク/専門職大学は大学、専門職短期大学は短期大学としてお答えください)

選択肢		回答数	構成比(%)
1	進学(大学)	3,740	62.3%
2	進学(短期大学)	229	3.8%
3	進学(専門学校)	863	14.4%
4	就職	550	9.2%
5	現時点では未定	602	10.0%
	無回答	23	0.4%
合計		6,007	100.0%

問4以降は別紙・九州共立大学 スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」概要を確認の上、回答を求めた。

問4 九州共立大学がスポーツ学部を設置予定の「こどもスポーツ教育学科(仮称)」には以下の特色があります。あなたが興味のあるものをお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

選択肢		回答数	回答率(%)
1	体育やスポーツを通じた学校づくり・地域づくりに貢献できる教育実践力が身に付く。	1,796	29.9%
2	多様化・複雑化する現代社会の課題に対する探求力を備え、自ら課題を解決に導く力が身に付く。	1,156	19.2%
3	キャリア支援教育や児童教育ならびにスポーツ実技等に関する授業を通して、質の高い学士力と確かな実践力を養う。	800	13.3%
4	スポーツの指導力に加え、スポーツの文化に精通した「体育に強い」小学校教員を養成。	903	15.0%
5	小学校教諭、中学・高校教諭免許(保健体育)が取得でき、多様な児童・生徒に対応できる教育力が身に付く。	1,336	22.2%
6	以上にあてはまるものはない	1,845	30.7%

※複数回答の結果。回答率=各回答数÷回答対象者(6,007人)である。

問5 あなたは九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比(%)
1	受験したい	321	5.3%
2	受験しない	5,539	92.2%
	無回答	147	2.4%
合計		6,007	100.0%

問6は問5で「受験したい」とした321人に回答を求めた。

問6 あなたは九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比(%)
1	合格した場合、入学したい	129	40.2%
2	合格した場合、併願校の可否により入学を検討する	190	59.2%
	無回答	2	0.6%
合計		321	100.0%

【クロス集計結果】

問5・6結果について、問3で「進学(大学)」を選択し、かつ問4で1～5の特色を1つ以上選択かつ6を未選択の回答者を抽出。

選択肢	回答数
問5で「受験したい」	232
問6で「合格した場合、入学したい」	89
問6で「合格した場合、併願校の可否により入学を検討する」	141

問7は問5で「受験したいと思わない」とした5,539人に回答を求めた。

問7 あなたが問5で九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」を「受験しない」とした理由をお答えください。(あてはまるものすべ

	選択肢	回答数	回答率(%)
1	九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから	209	3.8%
2	興味・関心はあるが、同分野の他大学に進学したいから	404	7.3%
3	興味・関心のある学問分野ではないから	2,762	49.9%
4	国公立大学に進学したいから	884	16.0%
5	他の私立大学に進学したいから	841	15.2%
6	短期大学・専門学校への進学を希望しているから	597	10.8%
7	進路は未定だから	750	13.5%
8	通学に時間がかかりそうだから	289	5.2%
9	学費が高いから	296	5.3%
10	卒業後の進路がイメージできないから	378	6.8%
11	新型コロナウイルス感染症の影響で今後の見通しが立てにくいから	56	1.0%
12	その他	257	4.6%

※複数回答の結果。回答率=各回答数÷回答対象者(5,539人)である。

3. 高校生アンケート調査 集計結果ポイント

①回答者の基本情報1

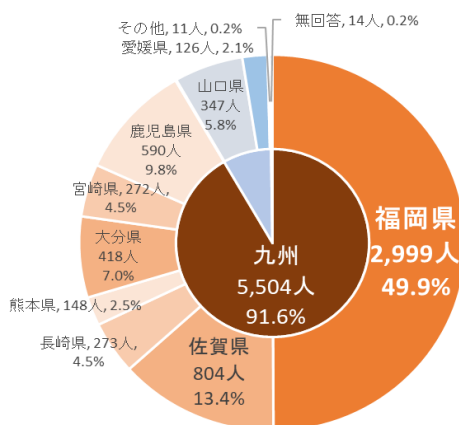
Point 1

福岡県はじめ九州地方を中心とした地域高校生6,007人がアンケートに回答。性別では「男性」「女性」ほぼ同数で、「進学(大学)」希望が6割強。

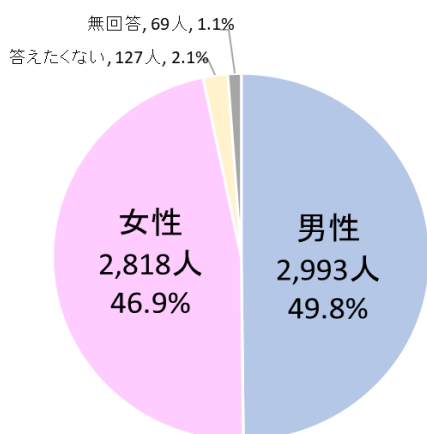
九州共立大学がスポーツ学部を設置構想中のスポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」の学生確保の見直しを検証するため、高校生アンケート調査を実施し、6,007人から回答を得た。

回答者の居住地として、全体の約5割にあたる2,999人は地元・福岡県であり、佐賀県804人、鹿児島県590人、大分県418人などを含めると九州地方の高校生が5,504人で全体の9割を占めた(グラフ1)。性別は、つ)であり、その他は、島根県、愛媛県、山口県、岡山県など九州共立大学が学生確保の基盤とする地域の高校生からの回答であった。性別は「男性」2,993人(49.8%)、「女性」2,818人(46.9%)であった(グラフ2)。高校卒業後の希望進路は「進学(大学)」が最も多く3,740人(62.3%)であった(グラフ3)。

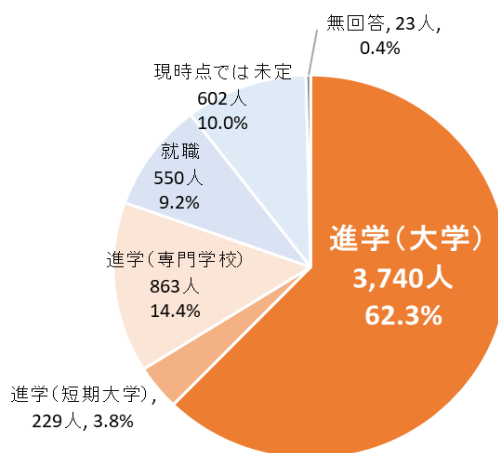
グラフ1: 回答者の居住地(問1結果より)



グラフ2: 回答者の性別(問2結果より)



グラフ3: 回答者の希望進路(問3結果より)



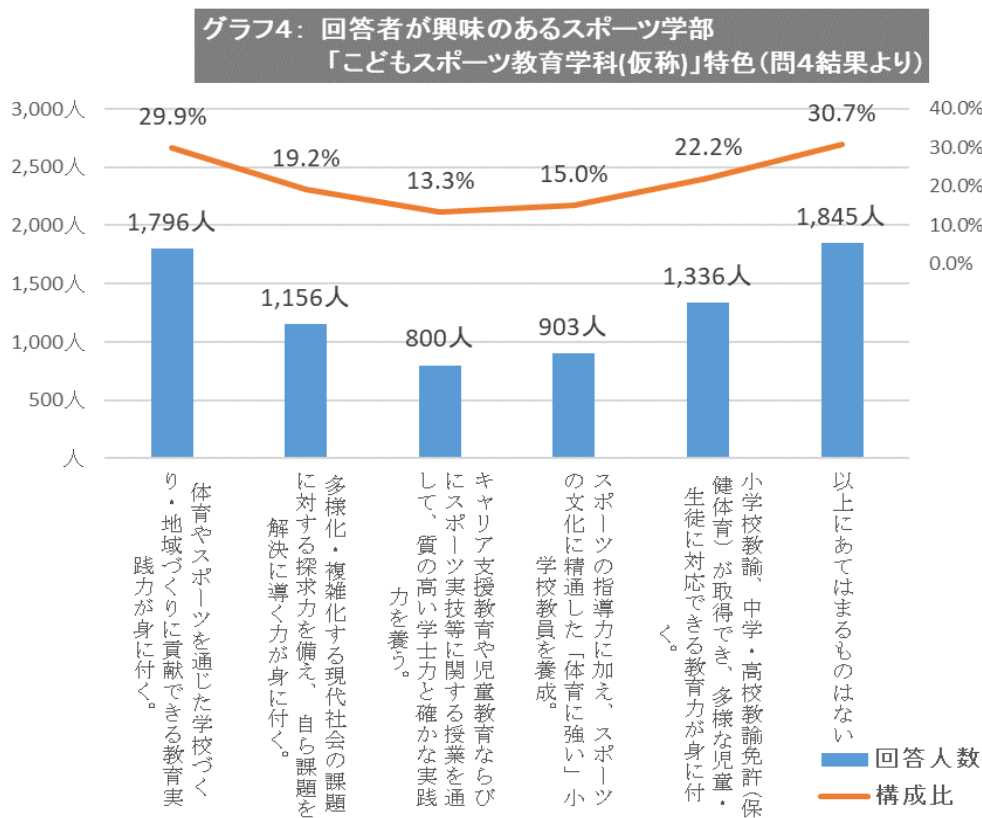
②「こどもスポーツ教育学科(仮称)」について興味のある特色

Point 2

「こどもスポーツ教育学科(仮称)」特色として「体育やスポーツを通じた学校づくり・地域づくりに貢献できる教育実践力が身に付く」に3割が興味を示す。

九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」概要を提示した上で、興味のある特色について回答を求めた。結果、興味のある特色として最も回答数が多かったのは「体育やスポーツを通じた学校づくり・地域づくりに貢献できる教育実践力が身に付く。」で全体の3割にあたる1,796人(29.9%)が挙げた。次いで「」が1,336人(22.2%)、「」1,156人(19.2%)でそれぞれ2割程度が挙げた(グラフ4/複数回答の結果)。

※「以上にあてはまるものはない」を選択している場合は、他の項目を選択していても無効扱い(選択した特色はカウントしない)とした。

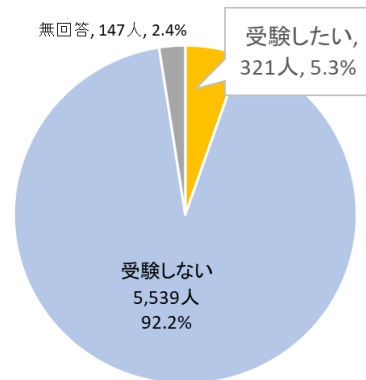


③九州共立大学 スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」 受験・入学意向について1

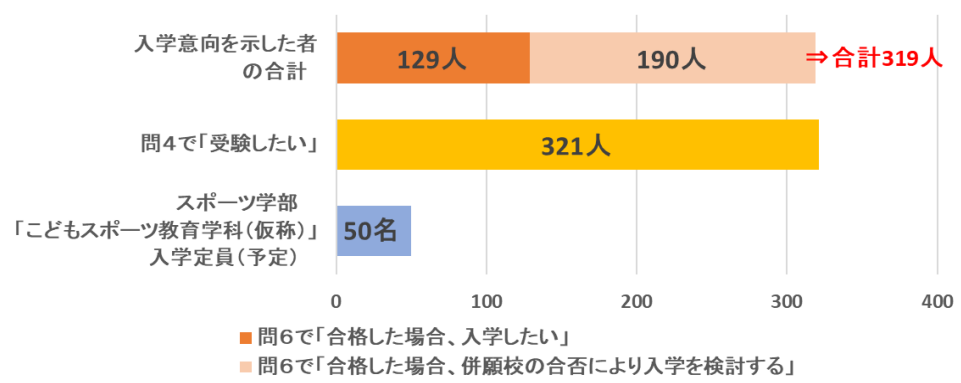
Point 3 九州共立大学のスポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」に対し入学定員50名の6.24倍となる312人が受験意向を示し、その上で2.58倍となる129人が強く入学を希望。

九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」の概要を提示した上で、受験・入学意向について回答を求めた。結果、「こどもスポーツ教育学科(仮称)」を「受験したい」としたのは321人(5.3%)で、「こどもスポーツ教育学科(仮称)」が予定する入学定員50名の6.24倍の水準であった。これらの受験意向を示した高校生に対し、合格した場合の入学意向について回答を求めたところ、強い入学意向を持つと考えられる「合格した場合、入学したい」とした回答者は129人で、入学定員の2.58倍に及ぶ水準であった。他にも「合格した場合、併願校の可否により入学を検討する」は190人であった。

グラフ5: 九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」受験意向(問5結果より)



グラフ6: 九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」入学意向の状況(問6結果より/一部、問5結果より)



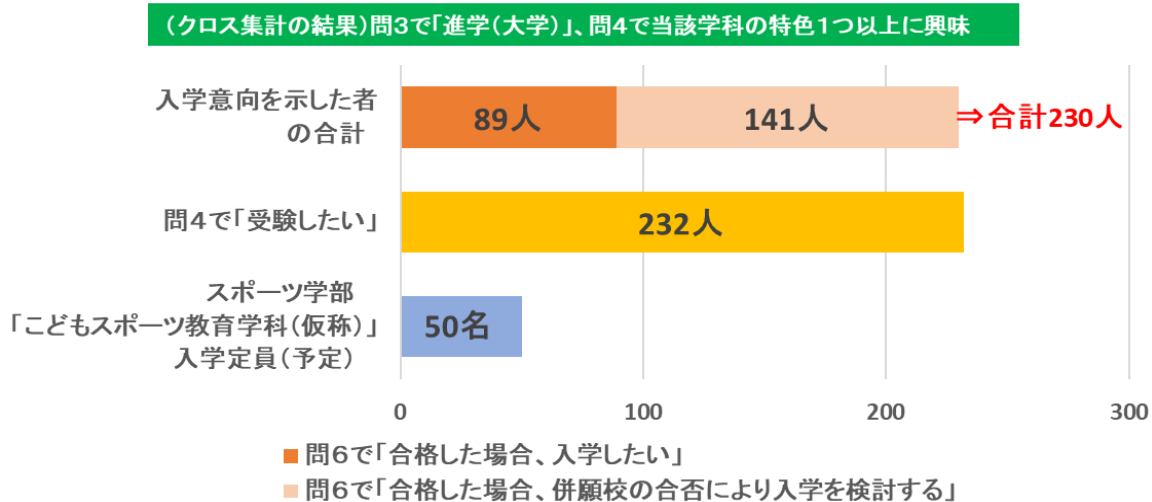
④九州共立大学 スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」 受験・入学意向について2(クロス集計結果)

Point 4

「こどもスポーツ教育学科(仮称)」に対し大学進学、学科への興味を踏まえたクロス集計を行ってもなお、入学定員50名を上回る89人の入学希望者を確認。

Point 3で示した受験・入学意向の結果についてクロス集計を行い、回答者本人が大学進学意向を示し(問3結果)、「こどもスポーツ教育学科(仮称)」特色に関心を示した(問4結果)回答者のみ抽出を行った。以上のようなクロス集計の結果、「こどもスポーツ教育学科(仮称)」を「受験したい」としたのは232人で、依然として入学定員50名の4.64倍の水準であった。その上で、強い入学意向を持つと考えられる「合格した場合、入学したい」とした回答者は89人おり、入学定員の1.78倍に及ぶ水準であった。

グラフ7: 九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」
入学意向の状況(問6結果より/一部、問5結果より)





九州共立大学 スポーツ学部 「こどもスポーツ教育学科(仮称)」

設置構想についての高中生アンケート調査 (対象：2022年度現在、高校2年生の皆さん)

九州共立大学は2024(令和6)年度、スポーツ学部新たに「こどもスポーツ教育学科(仮称/入学定員50名)」の設置を構想しています。「こどもスポーツ教育学科(仮称)」では小学校教諭一種免許状に加え、中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)の取得が可能となる予定で、卒業生は教育・スポーツ分野で幅広い活躍が期待されます。

本学ではこのアンケート調査を通して、2024(令和6)年度に大学進学時期を迎える現・高校2年生の皆さんからさまざまなご意見をお聞きし、さらなる計画の充実を図っていきたくと考えています。回答いただいた皆さんから得られた情報は九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

アンケート調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は九州共立大学から委託された第三者機関(株式会社高等教育総合研究所)が実施しています。

記入例を参考にご回答ください。



問1 あなたがお住まいの県をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県
 広島県 山口県 愛媛県 その他

問2 あなたの性別をお答えください。(あてはまるものにマーク)

- 男性 女性 答えたくない

問3 あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。(現時点で最もあてはまるもの1つにマーク/専門職大学は大学、専門職短期大学は短期大学としてお答えください)

- 進学(大学) 進学(短期大学) 進学(専門学校) 就職 現時点では未定

問4以降は別紙・九州共立大学 スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」概要をご覧ください、お答えください。

問4 九州共立大学がスポーツ学部設置予定の「こどもスポーツ教育学科(仮称)」には以下の特色があります。あなたが興味のあるものをお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

- 体育やスポーツを通じた学校づくり・地域づくりに貢献できる教育実践力が身に付く。
 多様化・複雑化する現代社会の課題に対する探求力を備え、自ら課題を解決に導く力が身に付く。
 キャリア支援教育や児童教育ならびにスポーツ実技等に関する授業を通して、質の高い学士力と確かな実践力を養う。
 スポーツの指導力に加え、スポーツの文化に精通した「体育に強い」小学校教員を養成。
 小学校教諭、中学・高校教諭免許(保健体育)が取得でき、多様な児童・生徒に対応できる教育力が身に付く。
 以上にあてはまるものはない





問5 あなたは九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 受験したい ⇒ 以下の問6にお答えください。
- 受験しない ⇒ 以下の問7にお答えください。

問5で「受験したい」と回答した方は、以下の問6にお答えください。

問6 あなたは九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 合格した場合、入学したい
- 合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい

問5で「受験しない」と回答した方は、以下の問7にお答えください。

問7 あなたが問4で九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」を「受験しない」とした理由をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

- 九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから
- 興味・関心はあるが、同分野の他大学に進学したいから
- 国公立大学に進学したいから
- 短期大学・専門学校への進学を希望しているから
- 通学に時間がかかりそうだから
- 卒業後の進路がイメージできないから
- その他
- 興味・関心のある学問分野ではないから
- 他の私立大学に進学したいから
- 進路は未定だから
- 学費が高いから
- 新型コロナウイルス感染症の影響で今後の見通しが立てにくいから

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



学
科
の
概
要

- 学 科 名 称 : こどもスポーツ教育学科(仮称)※スポーツ学部の新学科として開設予定
- 開 設 時 期 : 2024(令和6)年4月(予定)
- 開 設 場 所 : 九州共立大学(北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8)
- 修 業 年 限 : 4年
- 入 学 定 員 : 50名(学科収容定員:200名 ※予定)
- 取 得 学 位 : 学士(教育学)
- 養 成 する 人 材 : 体育やスポーツを通じた学校づくり・地域づくりに貢献できる教育実践力を有する人材を育成します。

学
科
の
特
色



児童教育およびスポーツに関する知識に加え、多様化・複雑化する現代社会の課題に対する探求力を備え、自ら課題を解決に導く力を身に付けます。



少人数制によるキャリア支援教育、児童教育学を基盤とした専門教育ならびにスポーツ実技指導を通して、質の高い学士力と確かな実践力を養います。



学部の特性を活かし、スポーツの指導力のみならずスポーツの文化に精通した「体育に強い」小学校教員を養成します。



小学校教諭一種免許状に加え、中学校および高等学校教諭一種免許状(保健体育)の取得が可能で多様な児童・生徒に対応できる教育力を身に付けます。

想
定
さ
れ
る
進
路

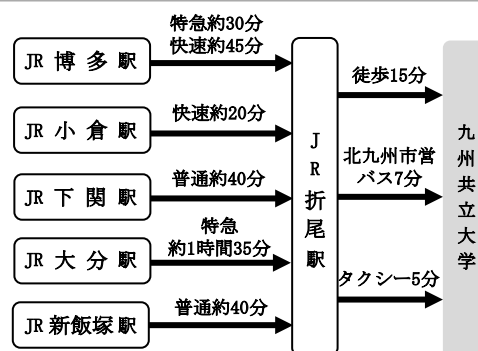
- ◆ 教 育 機 関 小学校、中学校(保健体育)、高等学校(保健体育)など
- ◆ スポーツ関連施設 子ども向け運動クラブ、スポーツクラブ、学童など
- ◆ 民 間 企 業 メーカー(スポーツ用品)、イベント会社、学習支援業など
- ◆ 地 方 自 治 体 児童関連、福祉関連など

初
年
次
学
費
(他
大
学
と
比
較)

大学名/学部名/学科名 (所在地)	入学金	授業料、 施設費等	初年次 合計
九州共立大学 スポーツ学部 こどもスポーツ教育学科 (北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8)	220,000	1,080,000	1,300,000
大阪体育大学 体育学部 スポーツ教育学科 (大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1)	250,000	1,190,000	1,440,000
国士舘大学 体育学部 こどもスポーツ教育学科 (東京都町田市広袴1-1-1)	240,000	1,259,000	1,499,000
環太平洋大学 次世代教育学部 教育経営学科 (岡山県岡山市東区瀬戸町観音寺721)	300,000	1,100,000	1,300,000

※ 九州共立大学 スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」の学費は予定のものです。
※ 他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報です(2022(令和4)年10月13日時点)。
※ いずれの大学も諸会費(委託徴収費等)を含みません。

九
州
共
立
大
学
へ
の
ア
ク
セ
ス



JR折尾駅からバス利用の場合:
JR折尾駅・北口のバス停(浅川經由高須団地行/浅川經由向田営業所行/浅川經由芦屋方面行/浅川經由保養センター行(浅川經由のバスはいずれも可)~九州共立大学前下車

九州共立大学 スポーツ学部 「こどもスポーツ教育学科」 設置構想についての高校生アンケート調査 ＜対象：2022年度高校2年生＞

1ページ目 (全4ページ)

九州共立大学は2024(令和6)年度、スポーツ学部新たに「こどもスポーツ教育学科(仮称/入学定員50名)」の設置を構想しています。「こどもスポーツ教育学科(仮称)」では小学校教諭一種免許状に加え、中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)の取得が可能となる予定で、卒業生は教育・スポーツ分野で幅広い活躍が期待されます。

本学ではこのアンケート調査を通して、2024(令和6)年度に大学進学時期を迎える現・高校2年生の皆さんからさまざまなご意見をお聞きし、さらなる計画の充実を図っていきたくと考えています。回答いただいた皆さんから得られた情報は九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

アンケート調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は九州共立大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

規約に同意する **必須**

本アンケート調査はお一人につき、一回までとなります。

同意する

規約に同意の上チェックしてください

次へ

九州共立大学 スポーツ学部
「こどもスポーツ教育学科」
設置構想についての高校生アンケート調査
<対象：2022年度高校2年生>

2ページ目 (全4ページ)

あなたがお住まいの県をお答えください。 **必須**

選択してください

あなたの性別をお答えください。 **必須**

選択してください

あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。 **必須**

(現時点で最もあてはまるもの1つにマーク/専門職大学は大学、専門職短期大学は短期大学としてお答えください)

選択してください

次へ

戻る

九州共立大学 スポーツ学部 「こどもスポーツ教育学科」 設置構想についての高校生アンケート調査 <対象：2022年度高校2年生>

3ページ目 (全4ページ)

以降は九州共立大学 スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」概要を
ご覧いただき、お答えください

問4以降に答える前に以下、九州共立大学がスポーツ学部を設置構想中の「こどもスポーツ教育学科(仮称)の概要」をご覧ください。



九州共立大学
KYUSHU KYORITSU UNIVERSITY

スポーツ学部

こどもスポーツ教育学科 (仮称)

設置構想中

2024(令和6)年
4月開設に向け

学科の概要

- 学 科 名 称：こどもスポーツ教育学科(仮称)※スポーツ学部へ新学科として開設予定
- 開 設 時 期：2024(令和6)年4月(予定)
- 開 設 場 所：九州共立大学(北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8)
- 修 業 年 限：4年
- 入 学 定 員：50名(学科収容定員:200名 ※予定)
- 取 得 学 位：学士(教育学)
- 養成する人材：体育やスポーツを通じて学校づくり・地域づくりに貢献できる教育実践力を有する人材を育成します。

学科の特色



児童教育およびスポーツに関する知識に加え、多様化・複雑化する現代社会の課題に対する探求力を備え、自ら課題を解決に導く力を身に付けます。



少人数制によるキャリア支援教育、児童教育学を基盤とした専門教育ならびにスポーツ実技指導を通して、質の高い学士力と確かな実践力を養います。



学部の特性を活かし、スポーツの指導力のみならずスポーツの文化に精通した「体育に強い」小学校教員を養成します。



小学校教諭一種免許状に加え、中学校および高等学校教諭一種免許状(保健体育)の取得が可能で多様な児童・生徒に対応できる教育力を身に付けます。

関連する機関・施設

- ◆ 教 育 機 関 小学校、中学校(保健体育)、高等学校(保健体育) など
- ◆ スポーツ関連施設 子ども向け運動クラブ、スポーツクラブ、学童など
- ◆ 民 間 企 業 メーカー(スポーツ用品)、イベント会社、学習支援業など
- ◆ 地 方 自 治 体 児童関連、福祉関連など

初年度学費(他大学)

大学名/学部名/学科名 (所在地)	入学金	授業料 施設費等	初年度 合計
九州共立大学 スポーツ学部 こどもスポーツ教育学科 (北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8)	220,000	1,080,000	1,300,000
大塚体育大学 体育学部 スポーツ教育学科 (大塚町泉原部強原町代台1-1)	250,000	1,190,000	1,440,000
国士舘大学 体育学部 こどもスポーツ教育学科 (東京都町田市広瀬1-4-1)	240,000	1,250,000	1,490,000
廣文学院大学 次世代教育学部 幼児保育学科 (岡山県岡山市東区瀬戸町学舎972)	300,000	1,100,000	1,300,000

※九州共立大学 スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」の学費は予定のものですが、
※他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報です(2022令和4年10月13日時点)。
※いずれの大学も諸会費(入学徴収費等)を含みません。

九州共立大学のアクセス



JR折尾駅からバス利用の場合：
折尾駅・北九州市バス停「浅川橋本薬園団地行/浅川橋本由井堂
薬所行/浅川橋本由井堂行/浅川橋本薬センター行(浅川橋本
のバスはいつでも)〜九州共立大学前下車

※上記は構想中の内容のため、今後変更となる場合があります。

-2-

次へ

戻る

九州共立大学 スポーツ学部
「こどもスポーツ教育学科」
設置構想についての高校生アンケート調査
＜対象：2022年度高校2年生＞

4ページ目（全4ページ）

九州共立大学がスポーツ学部を設置予定の「こどもスポーツ教育学科(仮称)」には以下の特色があります。あなたが興味のあるものをお答えください。（あてはまるものすべてにチェック） **必須**

- 体言やスポーツを通じた学校づくり・地域づくりに貢献できる教育実践力が身に付く。
- 多様化・複雑化する現代社会の課題に対する探求力を備え、自ら課題を解決に導く力が身に付く。
- キャリア支援教育や児童教育ならびにスポーツ実技等に関する授業を通して、質の高い学士力と確かな実践力を養う。
- スポーツの指導力に加え、スポーツの文化に精通した「体言に強い」小学校教員を養成。
- 小学校教諭、中学・高校教諭免許(保健体育)が取得でき、多様な児童・生徒に対応できる教育力が身に付く。
- 以上にあてはまるものはない

あなたは九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」を受験したいと思いますか。 **必須**

- 受験したい
- 受験しない

送信

戻る

「受験したい」を選んだ場合の表示

以上にあてはまるものはない

あなたは九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」を受験したいと思いますか。 **必須**

受験したい

受験しない

あなたは九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」に合格した場合、入学したいと思いますか。 **必須**

合格した場合、入学したい

合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい

送信

戻る

「受験しない」を選んだ場合の表示

県・生徒に対応できる教育力が身に付く。

以上にあてはまるものはない

あなたは九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」を受験したいと思いますか。 **必須**

受験したい

受験しない

あなたが九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」を「受験しない」とした理由をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク） **必須**

九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから

興味・関心はあるが、同分野の他大学に進学したいから

興味・関心のある学問分野ではないから

国公立大学に進学したいから

他の私立大学に進学したいから

短期大学・専門学校への進学を希望しているから

進路は未定だから

通学に時間がかかりそうだから

学費が高いから

卒業後の進路がイメージできないから

新型コロナウイルス感染症の影響で今後の見通しが立てにくいから

その他

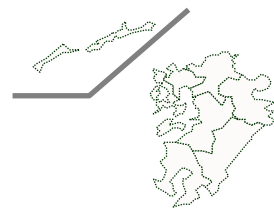
送信

戻る

18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向

九州沖縄版

- 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県 -



【将来予測 2022～2034年】

▶18歳人口予測 P2～P4

- ・2022年134,537人→2034年128,872人（5,665人減少）
- ・減少率が高いのは、長崎県（2022年比較12.5%減少）
- ・減少数が多いのも、長崎県（2022年12,437人→2034年10,886人、1,551人減少）

【経過推移 2013～2022年】

▶進学者数・進学率（現役）の推移 P5～P10

進学者数

- ・大学は、2013年51,275人→2022年52,961人（1,686人増加）と、3.3%増加
- ・短期大学は、2013年7,869人→2022年5,520人（2,349人減少）と、29.9%減少
- ・専門学校は、2013年25,691人→2022年23,085人（2,606人減少）と、10.1%減少

進学率（現役）

- ・大学は、2013年37.7%→2022年44.4%（6.7ポイント上昇）
- ・短期大学は、2013年5.8%→2022年4.6%（1.2ポイント低下）
- ・専門学校は、2013年18.9%→2022年19.3%（0.4ポイント上昇）

▶地元残留率の推移 P11～P13

- ・大学は、2013年46.3%→2022年46.3%（変動なし）
- ・短期大学は、2013年74.9%→2022年76.6%（1.7ポイント上昇）

▶九州沖縄エリア概要（全体：県別） P14～P17

■分析・データについて

- ① 18歳人口予測は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。
 - ・18歳人口=3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数、義務教育学校卒業生数
 - ・中学校卒業生数=高校生+フリーター+就職者 全て含む
- ② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す（年=年度）。
- ③ 表内の「指数」とは、グラフ開始年の値を100とおいた際の値を示す。
- ④ 卒業生数とは、高等学校卒業した数（全日制・定時制+中等教育学校後期課程）。
- ⑤ 進学者数とは、高等学校卒業生のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した数。
- ⑥ 進学率（現役）とは、進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業生数（全日制・定時制+中等教育学校後期課程）で算出した。
- ⑦ 残留率とは、自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）。
- ⑧ 図表で利用している百分率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、数値の和が100.0にならない場合がある。

※専門学校=専修学校専門課程

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルート リクルート進学総研

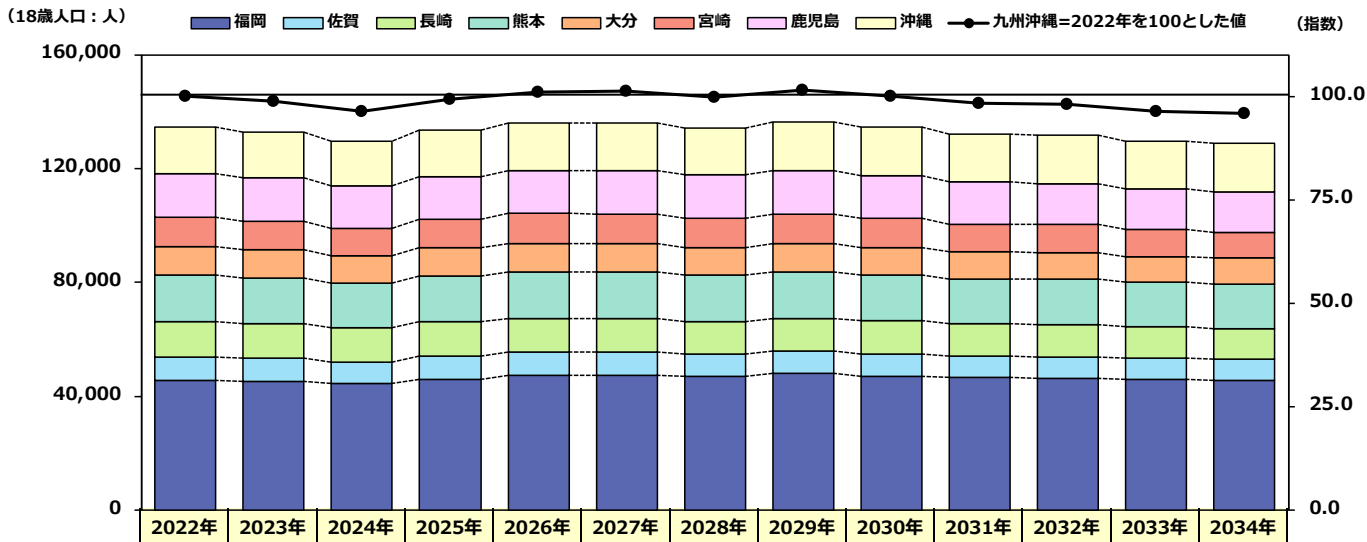
<https://souken.shingakunet.com/>

-学生確保(資料) -21-

18歳人口予測（全体：九州沖縄：2022～2034年）

■ 2022年134,537人→2034年128,872人（5,665人減少）

- 九州沖縄エリアは5,665人・4.2%減少し、全国の減少率10.3%を6.1ポイント下回る。
- 2024年に129,676人まで減少し、2027年にかけて6,508人増加。翌2028年に1,759人減少し、翌2029年には2,019人増加するが、2030年から2034年は減少傾向。
- 減少率が高いのは、長崎県（2022年比較12.5%減少）。
- 減少数が多いのも、長崎県（2022年12,437人→2034年10,886人、1,551人減少）。

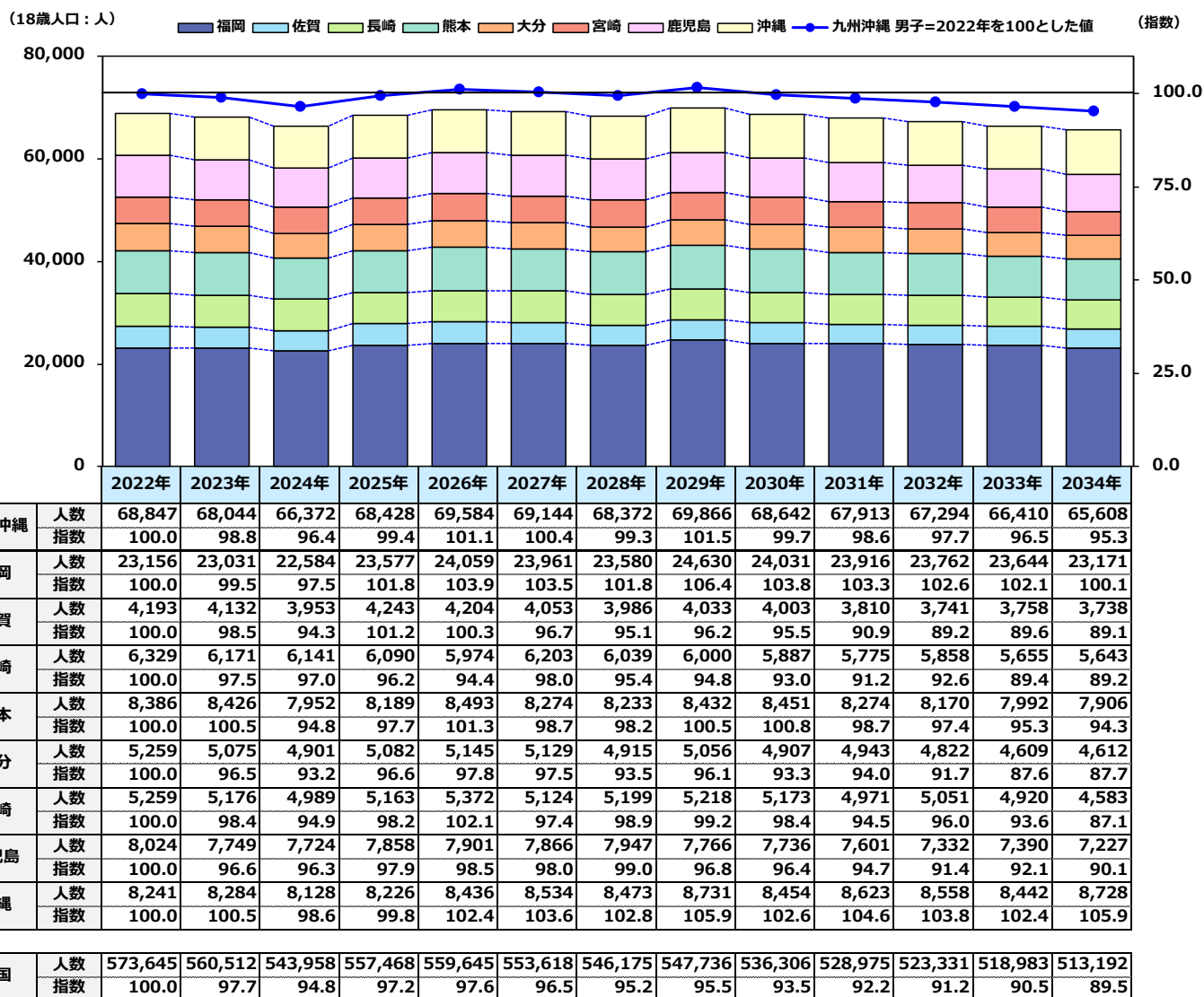


		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
九州沖縄	人数	134,537	132,869	129,676	133,620	135,935	136,184	134,425	136,444	134,546	132,234	131,779	129,572	128,872
	指数	100.0	98.8	96.4	99.3	101.0	101.2	99.9	101.4	100.0	98.3	98.0	96.3	95.8
福岡	人数	45,564	45,254	44,280	46,058	47,297	47,308	46,859	47,890	47,058	46,551	46,381	45,962	45,658
	指数	100.0	99.3	97.2	101.1	103.8	103.8	102.8	105.1	103.3	102.2	101.8	100.9	100.2
佐賀	人数	8,172	8,077	7,808	8,048	8,129	8,103	7,907	7,805	7,780	7,488	7,435	7,281	7,246
	指数	100.0	98.8	95.5	98.5	99.5	99.2	96.8	95.5	95.2	91.6	91.0	89.1	88.7
長崎	人数	12,437	12,136	11,814	11,925	11,852	11,959	11,593	11,686	11,586	11,287	11,341	11,186	10,886
	指数	100.0	97.6	95.0	95.9	95.3	96.2	93.2	94.0	93.2	90.8	91.2	89.9	87.5
熊本	人数	16,348	16,154	15,742	16,041	16,536	16,351	16,216	16,461	16,247	15,930	15,903	15,743	15,588
	指数	100.0	98.8	96.3	98.1	101.1	100.0	99.2	100.7	99.4	97.4	97.3	96.3	95.4
大分	人数	10,178	9,861	9,636	10,015	9,960	10,060	9,741	9,971	9,626	9,489	9,451	8,995	9,145
	指数	100.0	96.9	94.7	98.4	97.9	98.8	95.7	98.0	94.6	93.2	92.9	88.4	89.9
宮崎	人数	10,262	10,144	9,779	10,049	10,469	10,211	10,210	10,264	10,173	9,777	9,834	9,536	9,191
	指数	100.0	98.9	95.3	97.9	102.0	99.5	99.5	100.0	99.1	95.3	95.8	92.9	89.6
鹿児島	人数	15,445	15,086	14,826	15,128	15,171	15,382	15,206	15,192	15,198	14,882	14,470	14,356	14,166
	指数	100.0	97.7	96.0	97.9	98.2	99.6	98.5	98.4	98.4	96.4	93.7	92.9	91.7
沖縄	人数	16,131	16,157	15,791	16,356	16,521	16,810	16,693	17,175	16,878	16,830	16,964	16,513	16,992
	指数	100.0	100.2	97.9	101.4	102.4	104.2	103.5	106.5	104.6	104.3	105.2	102.4	105.3
全国	人数	1,121,285	1,097,416	1,063,451	1,090,562	1,092,647	1,084,271	1,068,477	1,068,876	1,050,143	1,034,714	1,023,592	1,013,581	1,005,782
	指数	100.0	97.9	94.8	97.3	97.4	96.7	95.3	95.3	93.7	92.3	91.3	90.4	89.7

18歳人口予測（男子：九州沖縄：2022～2034年）

■ 2022年68,847人→2034年65,608人（3,239人減少）

- ・男子は3,239人・4.7%減少し、全国の減少率10.5%を5.8ポイント下回る。
- ・2024年に66,372人まで減少し、2026年にかけて3,312人増加した後、2028年までに1,212人減少する。翌2029年に1,494人増加するが、2030年から2034年にかけて減少していく。
- ・減少率が高いのは、宮崎県（2022年比較12.9%減少）。
- ・減少数が多いのは、鹿児島県（2022年8,024人→2034年7,227人、797人減少）。

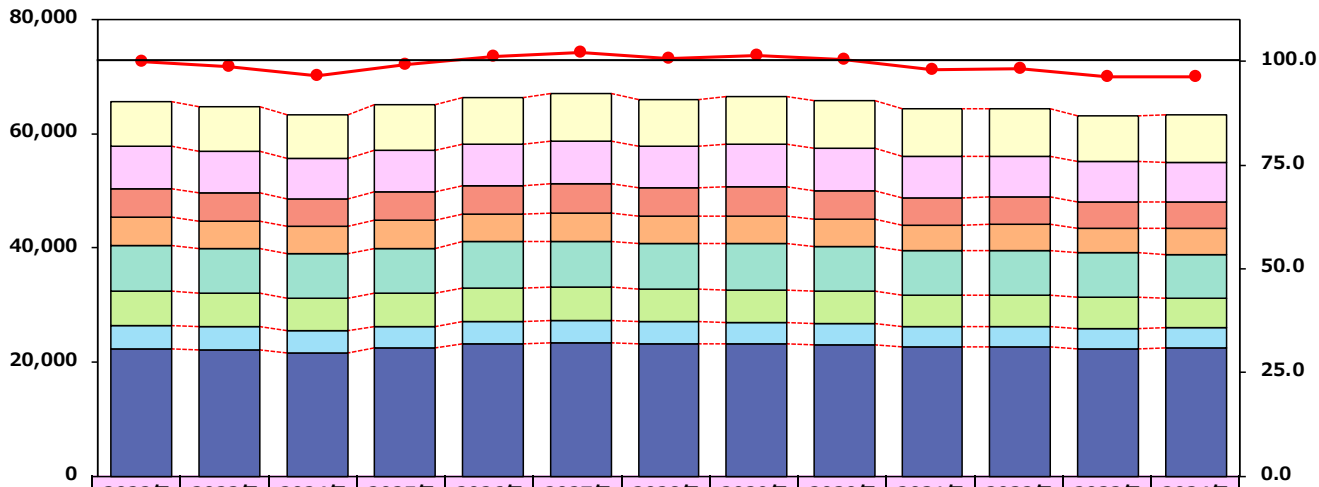


18歳人口予測（女子：九州沖縄：2022～2034年）

■ 2022年65,690人→2034年63,264人（2,426人減少）

- ・女子は2,426人・3.7%減少し、全国の減少率10.1%を6.4ポイント下回る。
- ・2024年に63,304人まで減少するが、2027年に向け3,736人増加。翌2028年に987人減少し、2029年は微増、その後2031年まで減少し、2032年に微増するが、その後は減少推移。
- ・減少率が高いのは、長崎県（2022年比較14.2%減少）。
- ・減少数が多いのも、長崎県（2022年6,108人→2034年5,243人、865人減少）。

(18歳人口：人) 福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄 ●九州沖縄 女子=2022年を100とした値 (指数)



		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
九州沖縄	人数	65,690	64,825	63,304	65,192	66,351	67,040	66,053	66,578	65,904	64,321	64,485	63,162	63,264
	指数	100.0	98.7	96.4	99.2	101.0	102.1	100.6	101.4	100.3	97.9	98.2	96.2	96.3
福岡	人数	22,408	22,223	21,696	22,481	23,238	23,347	23,279	23,260	23,027	22,635	22,619	22,318	22,487
	指数	100.0	99.2	96.8	100.3	103.7	104.2	103.9	103.8	102.8	101.0	100.9	99.6	100.4
佐賀	人数	3,979	3,945	3,855	3,805	3,925	4,050	3,921	3,772	3,777	3,678	3,694	3,523	3,508
	指数	100.0	99.1	96.9	95.6	98.6	101.8	98.5	94.8	94.9	92.4	92.8	88.5	88.2
長崎	人数	6,108	5,965	5,673	5,835	5,878	5,756	5,554	5,686	5,699	5,512	5,483	5,531	5,243
	指数	100.0	97.7	92.9	95.5	96.2	94.2	90.9	93.1	93.3	90.2	89.8	90.6	85.8
熊本	人数	7,962	7,728	7,790	7,852	8,043	8,077	7,983	8,029	7,796	7,656	7,733	7,751	7,682
	指数	100.0	97.1	97.8	98.6	101.0	101.4	100.3	100.8	97.9	96.2	97.1	97.3	96.5
大分	人数	4,919	4,786	4,735	4,933	4,815	4,931	4,826	4,915	4,719	4,546	4,629	4,386	4,533
	指数	100.0	97.3	96.3	100.3	97.9	100.2	98.1	99.9	95.9	92.4	94.1	89.2	92.2
宮崎	人数	5,003	4,968	4,790	4,886	5,097	5,087	5,011	5,046	5,000	4,806	4,783	4,616	4,608
	指数	100.0	99.3	95.7	97.7	101.9	101.7	100.2	100.9	99.9	96.1	95.6	92.3	92.1
鹿児島	人数	7,421	7,337	7,102	7,270	7,270	7,516	7,259	7,426	7,462	7,281	7,138	6,966	6,939
	指数	100.0	98.9	95.7	98.0	98.0	101.3	97.8	100.1	100.6	98.1	96.2	93.9	93.5
沖縄	人数	7,890	7,873	7,663	8,130	8,085	8,276	8,220	8,444	8,424	8,207	8,406	8,071	8,264
	指数	100.0	99.8	97.1	103.0	102.5	104.9	104.2	107.0	106.8	104.0	106.5	102.3	104.7
全国	人数	547,640	536,904	519,493	533,094	533,002	530,653	522,302	521,140	513,837	505,739	500,261	494,598	492,590
	指数	100.0	98.0	94.9	97.3	97.3	96.9	95.4	95.2	93.8	92.3	91.3	90.3	89.9

進学者数・進学率（現役）の推移（全体：九州沖縄：2013～2022年）

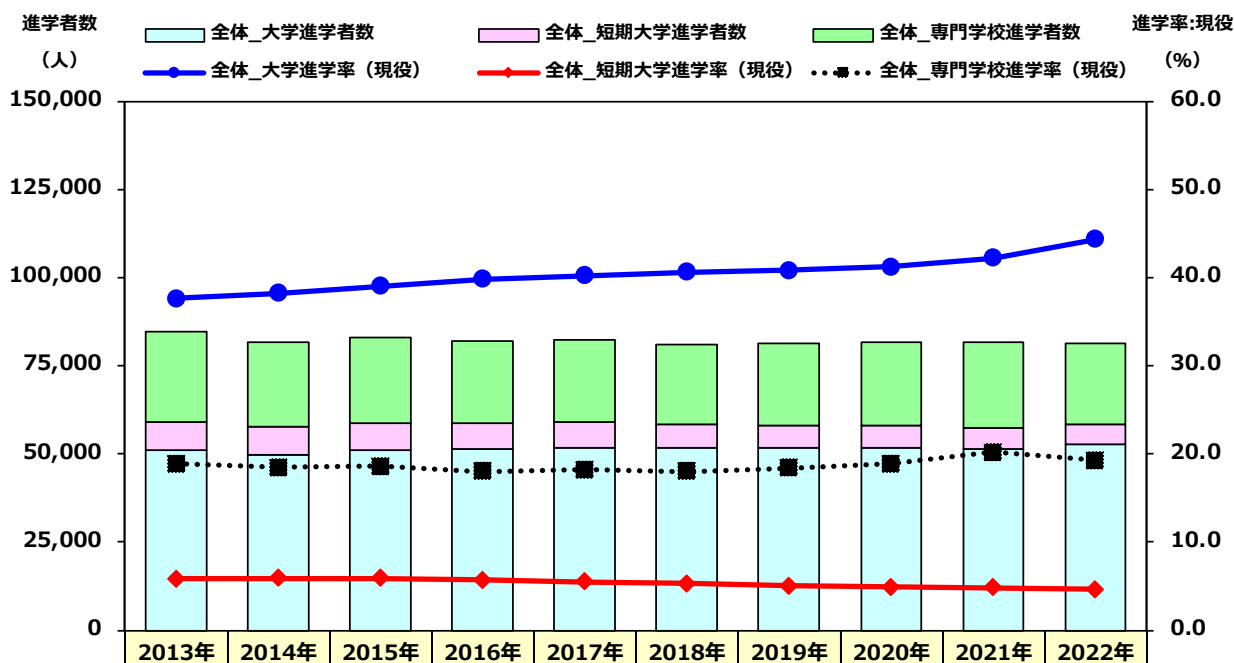
■ 10年で大学進学率が6.7ポイント上昇、短期大学進学率は1.2ポイント低下、専門学校進学率は0.4ポイント上昇

進学者数

- ・ 大学は、2013年51,275人→2022年52,961人（1,686人増加）と、3.3%増加。
- ・ 短期大学は、2013年7,869人→2022年5,520人（2,349人減少）と、29.9%減少。
- ・ 専門学校は、2013年25,691人→2022年23,085人（2,606人減少）と、10.1%減少。

進学率（現役）

- ・ 大学は、2013年37.7%→2022年44.4%（6.7ポイント上昇）。
- ・ 短期大学は、2013年5.8%→2022年4.6%（1.2ポイント低下）。
- ・ 専門学校は、2013年18.9%→2022年19.3%（0.4ポイント上昇）。



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
九州 沖縄	卒業生数	135,923	130,284	130,536	129,144	129,078	127,067	127,129	125,955	121,921	119,363	
	進学者数	大学	51,275	49,940	51,063	51,482	51,976	51,729	51,933	51,973	51,560	52,961
		短期大学	7,869	7,728	7,696	7,419	7,068	6,673	6,320	6,127	5,794	5,520
		専門学校	25,691	24,157	24,248	23,246	23,487	22,899	23,340	23,856	24,613	23,085
	進学率 (現役)	大学	37.7	38.3	39.1	39.9	40.3	40.7	40.9	41.3	42.3	44.4
		短期大学	5.8	5.9	5.9	5.7	5.5	5.3	5.0	4.9	4.8	4.6
		専門学校	18.9	18.5	18.6	18.0	18.2	18.0	18.4	18.9	20.2	19.3

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・ 卒業生数：高等学校卒業した数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

・ 進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した数

・ 進学率（現役）：進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業生数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

※専門学校＝専修学校専門課程

－学生確保（資料）－25－

進学者数・進学率（現役）の推移（全体：県別：2013～2022年）

		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
福岡	卒業者数	42,908	41,758	42,095	42,094	42,535	41,698	41,981	41,909	40,738	39,944	
	進学者数	大学	19,141	19,082	19,668	19,900	20,256	19,669	20,042	19,988	19,790	20,511
		短期大学	2,613	2,636	2,611	2,492	2,309	2,159	2,077	2,070	1,929	1,838
		専門学校	6,802	6,538	6,405	6,165	6,905	7,049	7,114	7,407	7,484	6,966
	進学率 （現役）	大学	44.6	45.7	46.7	47.3	47.6	47.2	47.7	47.7	48.6	51.3
		短期大学	6.1	6.3	6.2	5.9	5.4	5.2	4.9	4.9	4.7	4.6
専門学校		15.9	15.7	15.2	14.6	16.2	16.9	16.9	17.7	18.4	17.4	
佐賀	卒業者数	8,519	8,281	8,239	8,254	8,106	8,051	8,079	7,976	7,550	7,440	
	進学者数	大学	2,995	2,960	3,064	3,051	3,063	3,149	3,132	3,054	3,053	3,087
		短期大学	485	442	435	431	426	366	364	349	318	314
		専門学校	1,515	1,446	1,446	1,388	1,225	1,249	1,344	1,310	1,387	1,287
	進学率 （現役）	大学	35.2	35.7	37.2	37.0	37.8	39.1	38.8	38.3	40.4	41.5
		短期大学	5.7	5.3	5.3	5.2	5.3	4.5	4.5	4.4	4.2	4.2
専門学校		17.8	17.5	17.6	16.8	15.1	15.5	16.6	16.4	18.4	17.3	
長崎	卒業者数	14,081	13,182	12,924	12,915	12,977	12,740	12,289	12,161	11,590	11,283	
	進学者数	大学	5,121	4,923	4,560	4,938	4,893	5,031	4,905	5,005	4,918	4,898
		短期大学	634	652	620	666	625	559	521	515	466	484
		専門学校	2,526	2,310	2,526	2,095	2,235	2,034	2,056	2,136	1,972	1,855
	進学率 （現役）	大学	36.4	37.3	35.3	38.2	37.7	39.5	39.9	41.2	42.4	43.4
		短期大学	4.5	4.9	4.8	5.2	4.8	4.4	4.2	4.2	4.0	4.3
専門学校		17.9	17.5	19.5	16.2	17.2	16.0	16.7	17.6	17.0	16.4	
熊本	卒業者数	16,640	15,968	15,911	15,719	15,622	15,405	15,532	14,931	14,750	14,388	
	進学者数	大学	6,248	6,197	6,324	6,355	6,461	6,383	6,463	6,141	6,173	6,200
		短期大学	666	728	651	593	573	547	505	512	514	465
		専門学校	3,181	2,990	2,877	2,922	2,769	2,656	2,851	2,678	3,021	2,708
	進学率 （現役）	大学	37.5	38.8	39.7	40.4	41.4	41.4	41.6	41.1	41.9	43.1
		短期大学	4.0	4.6	4.1	3.8	3.7	3.6	3.3	3.4	3.5	3.2
専門学校		19.1	18.7	18.1	18.6	17.7	17.2	18.4	17.9	20.5	18.8	
大分	卒業者数	11,001	10,419	10,517	10,343	10,102	10,083	9,973	9,962	9,557	9,417	
	進学者数	大学	3,896	3,626	3,781	3,730	3,663	3,805	3,719	3,859	3,803	3,858
		短期大学	901	882	913	859	835	773	721	749	692	682
		専門学校	2,308	2,196	2,211	2,118	2,066	1,957	1,864	1,921	2,058	2,019
	進学率 （現役）	大学	35.4	34.8	36.0	36.1	36.3	37.7	37.3	38.7	39.8	41.0
		短期大学	8.2	8.5	8.7	8.3	8.3	7.7	7.2	7.5	7.2	7.2
専門学校		21.0	21.1	21.0	20.5	20.5	19.4	18.7	19.3	21.5	21.4	
宮崎	卒業者数	11,357	10,653	10,752	10,657	10,364	10,028	10,160	10,080	9,687	9,307	
	進学者数	大学	3,903	3,768	3,788	3,977	3,826	3,805	3,780	3,800	3,821	3,759
		短期大学	694	639	662	568	598	564	538	493	456	396
		専門学校	1,981	1,782	1,794	1,826	1,656	1,639	1,767	1,791	1,694	1,671
	進学率 （現役）	大学	34.4	35.4	35.2	37.3	36.9	37.9	37.2	37.7	39.4	40.4
		短期大学	6.1	6.0	6.2	5.3	5.8	5.6	5.3	4.9	4.7	4.3
専門学校		17.4	16.7	16.7	17.1	16.0	16.3	17.4	17.8	17.5	18.0	
鹿児島	卒業者数	16,447	15,374	15,214	14,928	14,765	14,489	14,607	14,427	13,956	13,764	
	進学者数	大学	4,815	4,428	4,585	4,562	4,637	4,689	4,693	4,717	4,749	4,974
		短期大学	1,346	1,220	1,201	1,229	1,138	1,146	1,075	970	968	896
		専門学校	3,425	3,182	3,037	2,933	2,973	2,739	2,846	2,871	3,065	3,003
	進学率 （現役）	大学	29.3	28.8	30.1	30.6	31.4	32.4	32.1	32.7	34.0	36.1
		短期大学	8.2	7.9	7.9	8.2	7.7	7.9	7.4	6.7	6.9	6.5
専門学校		20.8	20.7	20.0	19.6	20.1	18.9	19.5	19.9	22.0	21.8	
沖縄	卒業者数	14,970	14,649	14,884	14,234	14,607	14,573	14,508	14,509	14,093	13,820	
	進学者数	大学	5,156	4,956	5,293	4,969	5,177	5,198	5,199	5,409	5,253	5,674
		短期大学	530	529	603	581	564	559	519	469	451	445
		専門学校	3,953	3,713	3,952	3,799	3,658	3,576	3,498	3,742	3,932	3,576
	進学率 （現役）	大学	34.4	33.8	35.6	34.9	35.4	35.7	35.8	37.3	37.3	41.1
		短期大学	3.5	3.6	4.1	4.1	3.9	3.8	3.6	3.2	3.2	3.2
専門学校		26.4	25.3	26.6	26.7	25.0	24.5	24.1	25.8	27.9	25.9	

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業者数：高等学校卒業した数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した数

・進学率（現役）：進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業者数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

※専門学校＝専修学校専門課程
-学生確保（資料） -26-

進学者数・進学率（現役）の推移（男子：九州沖縄：2013～2022年）

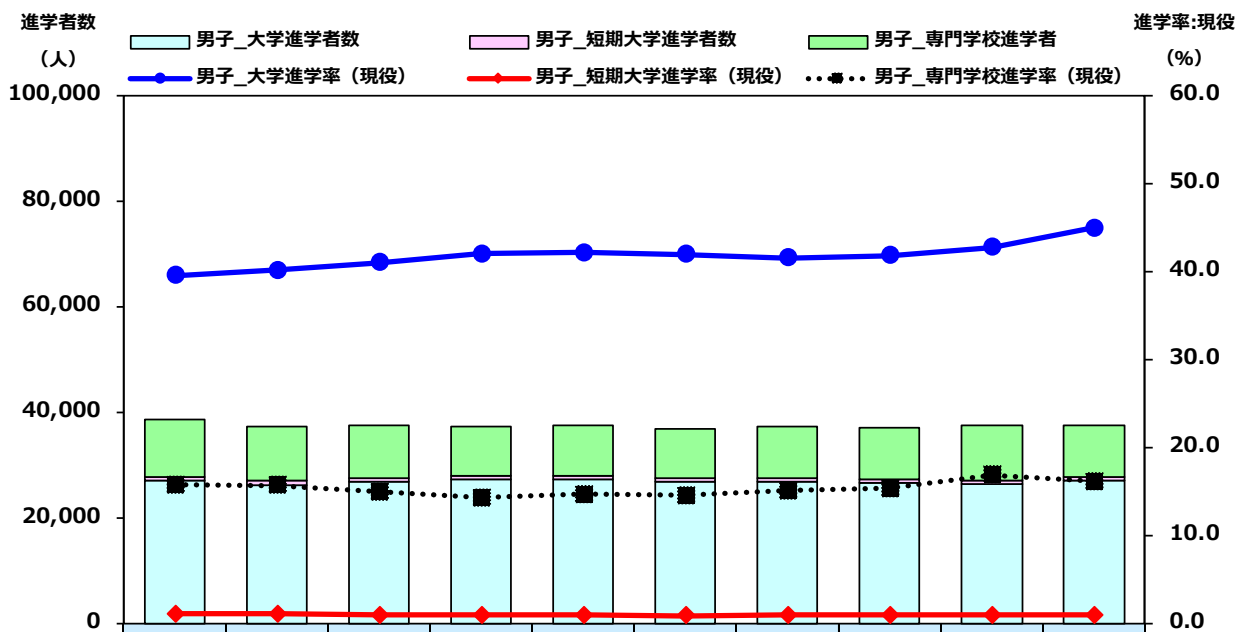
■ 男子では、大学進学率が5.4ポイント上昇、短期大学進学率は0.1ポイント低下、専門学校進学率は0.4ポイント上昇

進学者数

- ・ 大学は、2013年27,155人→2022年27,223人（68人増加）と、0.3%増加。
- ・ 短期大学は、2013年725人→2022年635人（90人減少）と、12.4%減少。
- ・ 専門学校は、2013年10,874人→2022年9,775人（1,099人減少）と、10.1%減少。

進学率（現役）

- ・ 大学は、2013年39.6%→2022年45.0%（5.4ポイント上昇）。
- ・ 短期大学は、2013年1.1%→2022年1.0%（0.1ポイント低下）。
- ・ 専門学校は、2013年15.8%→2022年16.2%（0.4ポイント上昇）。



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
九州 沖縄	卒業生数	68,624	65,466	65,683	65,044	64,858	64,176	64,688	63,641	61,808	60,507	
	進学者数	大学	27,155	26,324	27,002	27,384	27,356	26,963	26,887	26,650	26,469	27,223
		短期大学	725	725	670	679	641	594	616	640	628	635
		専門学校	10,874	10,305	9,866	9,330	9,516	9,401	9,769	9,816	10,435	9,775
	進学率 (現役)	大学	39.6	40.2	41.1	42.1	42.2	42.0	41.6	41.9	42.8	45.0
		短期大学	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
		専門学校	15.8	15.7	15.0	14.3	14.7	14.6	15.1	15.4	16.9	16.2

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・ 卒業生数：高等学校卒業した数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

・ 進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した数

・ 進学率（現役）：進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業生数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

※専門学校＝専修学校専門課程

-学生確保(資料) -27-

進学者数・進学率（現役）の推移（男子：県別：2013～2022年）

		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
福岡	卒業生数	21,499	20,819	20,971	21,114	21,222	20,992	21,332	20,917	20,375	20,022	
	進学者数	大学	10,139	9,979	10,368	10,478	10,609	10,142	10,257	10,095	9,928	10,453
		短期大学	271	283	283	260	268	226	262	269	256	292
		専門学校	2,874	2,822	2,609	2,535	2,794	2,974	3,078	3,072	3,167	2,899
	進学率 （現役）	大学	47.2	47.9	49.4	49.6	50.0	48.3	48.1	48.3	48.7	52.2
		短期大学	1.3	1.4	1.3	1.2	1.3	1.1	1.2	1.3	1.3	1.5
専門学校		13.4	13.6	12.4	12.0	13.2	14.2	14.4	14.7	15.5	14.5	
佐賀	卒業生数	4,362	4,247	4,166	4,255	4,153	4,181	4,271	4,111	3,947	3,884	
	進学者数	大学	1,583	1,594	1,594	1,644	1,625	1,684	1,660	1,635	1,646	1,613
		短期大学	38	33	30	36	27	30	27	21	32	28
		専門学校	594	566	542	540	450	492	537	481	577	537
	進学率 （現役）	大学	36.3	37.5	38.3	38.6	39.1	40.3	38.9	39.8	41.7	41.5
		短期大学	0.9	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.6	0.5	0.8	0.7
専門学校		13.6	13.3	13.0	12.7	10.8	11.8	12.6	11.7	14.6	13.8	
長崎	卒業生数	7,101	6,639	6,480	6,543	6,602	6,454	6,255	6,229	5,906	5,707	
	進学者数	大学	2,628	2,530	2,340	2,602	2,505	2,564	2,440	2,543	2,522	2,465
		短期大学	42	47	41	42	38	43	35	41	33	41
		専門学校	937	903	914	750	813	759	794	816	739	735
	進学率 （現役）	大学	37.0	38.1	36.1	39.8	37.9	39.7	39.0	40.8	42.7	43.2
		短期大学	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.7	0.6	0.7	0.6	0.7
専門学校		13.2	13.6	14.1	11.5	12.3	11.8	12.7	13.1	12.5	12.9	
熊本	卒業生数	8,498	8,148	8,226	8,005	8,020	7,836	7,998	7,588	7,547	7,398	
	進学者数	大学	3,203	3,185	3,307	3,332	3,378	3,279	3,343	3,103	3,117	3,145
		短期大学	100	96	83	82	81	71	69	62	78	54
		専門学校	1,368	1,308	1,170	1,192	1,154	1,030	1,160	1,046	1,316	1,164
	進学率 （現役）	大学	37.7	39.1	40.2	41.6	42.1	41.8	41.8	40.9	41.3	42.5
		短期大学	1.2	1.2	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.8	1.0	0.7
専門学校		16.1	16.1	14.2	14.9	14.4	13.1	14.5	13.8	17.4	15.7	
大分	卒業生数	5,592	5,254	5,261	5,209	4,943	5,071	5,153	5,054	4,810	4,826	
	進学者数	大学	2,115	1,959	2,069	2,063	1,990	2,031	2,031	2,104	2,071	2,079
		短期大学	128	138	93	105	103	87	81	99	82	97
		専門学校	988	925	948	861	836	833	862	805	889	914
	進学率 （現役）	大学	37.8	37.3	39.3	39.6	40.3	40.1	39.4	41.6	43.1	43.1
		短期大学	2.3	2.6	1.8	2.0	2.1	1.7	1.6	2.0	1.7	2.0
専門学校		17.7	17.6	18.0	16.5	16.9	16.4	16.7	15.9	18.5	18.9	
宮崎	卒業生数	5,822	5,390	5,501	5,385	5,353	5,076	5,164	5,214	4,983	4,745	
	進学者数	大学	2,096	2,053	1,982	2,149	2,052	2,002	1,996	2,022	1,973	1,981
		短期大学	46	34	48	37	32	33	41	38	35	25
		専門学校	907	752	757	721	724	705	738	782	731	738
	進学率 （現役）	大学	36.0	38.1	36.0	39.9	38.3	39.4	38.7	38.8	39.6	41.7
		短期大学	0.8	0.6	0.9	0.7	0.6	0.7	0.8	0.7	0.7	0.5
専門学校		15.6	14.0	13.8	13.4	13.5	13.9	14.3	15.0	14.7	15.6	
鹿児島	卒業生数	8,280	7,616	7,562	7,426	7,383	7,204	7,321	7,333	7,056	7,024	
	進学者数	大学	2,723	2,391	2,541	2,516	2,528	2,548	2,573	2,576	2,604	2,727
		短期大学	65	46	46	62	52	75	56	61	64	56
		専門学校	1,457	1,386	1,181	1,158	1,208	1,115	1,116	1,185	1,282	1,278
	進学率 （現役）	大学	32.9	31.4	33.6	33.9	34.2	35.4	35.1	35.1	36.9	38.8
		短期大学	0.8	0.6	0.6	0.8	0.7	1.0	0.8	0.8	0.9	0.8
専門学校		17.6	18.2	15.6	15.6	16.4	15.5	15.2	16.2	18.2	18.2	
沖縄	卒業生数	7,470	7,353	7,516	7,107	7,182	7,362	7,194	7,195	7,184	6,901	
	進学者数	大学	2,668	2,633	2,801	2,600	2,669	2,713	2,587	2,572	2,608	2,760
		短期大学	35	48	46	55	40	29	45	49	48	42
		専門学校	1,749	1,643	1,745	1,573	1,537	1,493	1,484	1,629	1,734	1,510
	進学率 （現役）	大学	35.7	35.8	37.3	36.6	37.2	36.9	36.0	35.7	36.3	40.0
		短期大学	0.5	0.7	0.6	0.8	0.6	0.4	0.6	0.7	0.7	0.6
専門学校		23.4	22.3	23.2	22.1	21.4	20.3	20.6	22.6	24.1	21.9	

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業生数：高等学校卒業した数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した数

・進学率（現役）：進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業生数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

※専門学校＝専修学校専門課程 -学生確保(資料) -28-

進学者数・進学率（現役）の推移（女子：九州沖縄：2013～2022年）

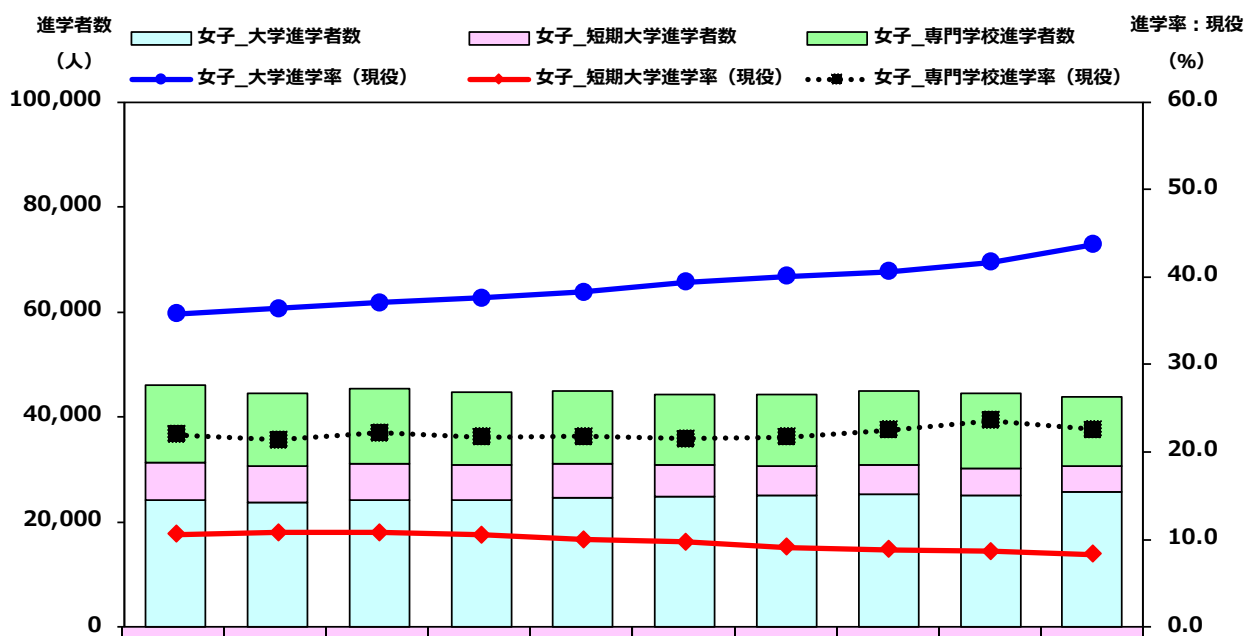
■ 女子では、大学進学率が7.9ポイント上昇し、進学者数も1,618人増加する一方、短期大学・専門学校は進学者数が減少（合計3,766人減少）

進学者数

- ・ 大学は、2013年24,120人→2022年25,738人（1,618人増加）と、6.7%増加。
- ・ 短期大学は、2013年7,144人→2022年4,885人（2,259人減少）と、31.6%減少。
- ・ 専門学校は、2013年14,817人→2022年13,310人（1,507人減少）と、10.2%減少。

進学率（現役）

- ・ 大学は、2013年35.8%→2022年43.7%（7.9ポイント上昇）。
- ・ 短期大学は、2013年10.6%→2022年8.3%（2.3ポイント低下）。
- ・ 専門学校は、2013年22.0%→2022年22.6%（0.6ポイント上昇）。



九州 沖縄	卒業生数		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
	進学者数	大学	24,120	23,616	24,061	24,098	24,620	24,766	25,046	25,323	25,091	25,738
		短期大学	7,144	7,003	7,026	6,740	6,427	6,079	5,704	5,487	5,166	4,885
専門学校		14,817	13,852	14,382	13,916	13,971	13,498	13,571	14,040	14,178	13,310	
進学率 (現役)	大学	35.8	36.4	37.1	37.6	38.3	39.4	40.1	40.6	41.7	43.7	
	短期大学	10.6	10.8	10.8	10.5	10.0	9.7	9.1	8.8	8.6	8.3	
	専門学校	22.0	21.4	22.2	21.7	21.8	21.5	21.7	22.5	23.6	22.6	

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・ 卒業生数：高等学校卒業した数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

・ 進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した数

・ 進学率（現役）：進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業生数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

※専門学校＝専修学校専門課程

-学生確保(資料) -29-

進学者数・進学率（現役）の推移（女子：県別：2013～2022年）

		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
福岡	卒業者数	21,409	20,939	21,124	20,980	21,313	20,706	20,649	20,992	20,363	19,922	
	進学者数	大学	9,002	9,103	9,300	9,422	9,647	9,527	9,785	9,893	9,862	10,058
		短期大学	2,342	2,353	2,328	2,232	2,041	1,933	1,815	1,801	1,673	1,546
		専門学校	3,928	3,716	3,796	3,630	4,111	4,075	4,036	4,335	4,317	4,067
	進学率 （現役）	大学	42.0	43.5	44.0	44.9	45.3	46.0	47.4	47.1	48.4	50.5
		短期大学	10.9	11.2	11.0	10.6	9.6	9.3	8.8	8.6	8.2	7.8
専門学校		18.3	17.7	18.0	17.3	19.3	19.7	19.5	20.7	21.2	20.4	
佐賀	卒業者数	4,157	4,034	4,073	3,999	3,953	3,870	3,808	3,865	3,603	3,556	
	進学者数	大学	1,412	1,366	1,470	1,407	1,438	1,465	1,472	1,419	1,407	1,474
		短期大学	447	409	405	395	399	336	337	328	286	286
		専門学校	921	880	904	848	775	757	807	829	810	750
	進学率 （現役）	大学	34.0	33.9	36.1	35.2	36.4	37.9	38.7	36.7	39.1	41.5
		短期大学	10.8	10.1	9.9	9.9	10.1	8.7	8.8	8.5	7.9	8.0
専門学校		22.2	21.8	22.2	21.2	19.6	19.6	21.2	21.4	22.5	21.1	
長崎	卒業者数	6,980	6,543	6,444	6,372	6,375	6,286	6,034	5,932	5,684	5,576	
	進学者数	大学	2,493	2,393	2,220	2,336	2,388	2,467	2,465	2,462	2,396	2,433
		短期大学	592	605	579	624	587	516	486	474	433	443
		専門学校	1,589	1,407	1,612	1,345	1,422	1,275	1,262	1,320	1,233	1,120
	進学率 （現役）	大学	35.7	36.6	34.5	36.7	37.5	39.2	40.9	41.5	42.2	43.6
		短期大学	8.5	9.2	9.0	9.8	9.2	8.2	8.1	8.0	7.6	7.9
専門学校		22.8	21.5	25.0	21.1	22.3	20.3	20.9	22.3	21.7	20.1	
熊本	卒業者数	8,142	7,820	7,685	7,714	7,602	7,569	7,534	7,343	7,203	6,990	
	進学者数	大学	3,045	3,012	3,017	3,023	3,083	3,104	3,120	3,038	3,056	3,055
		短期大学	566	632	568	511	492	476	436	450	436	411
		専門学校	1,813	1,682	1,707	1,730	1,615	1,626	1,691	1,632	1,705	1,544
	進学率 （現役）	大学	37.4	38.5	39.3	39.2	40.6	41.0	41.4	41.4	42.4	43.7
		短期大学	7.0	8.1	7.4	6.6	6.5	6.3	5.8	6.1	6.1	5.9
専門学校		22.3	21.5	22.2	22.4	21.2	21.5	22.4	22.2	23.7	22.1	
大分	卒業者数	5,409	5,165	5,256	5,134	5,159	5,012	4,820	4,908	4,747	4,591	
	進学者数	大学	1,781	1,667	1,712	1,667	1,673	1,774	1,688	1,755	1,732	1,779
		短期大学	773	744	820	754	732	686	640	650	610	585
		専門学校	1,320	1,271	1,263	1,257	1,230	1,124	1,002	1,116	1,169	1,105
	進学率 （現役）	大学	32.9	32.3	32.6	32.5	32.4	35.4	35.0	35.8	36.5	38.7
		短期大学	14.3	14.4	15.6	14.7	14.2	13.7	13.3	13.2	12.9	12.7
専門学校		24.4	24.6	24.0	24.5	23.8	22.4	20.8	22.7	24.6	24.1	
宮崎	卒業者数	5,535	5,263	5,251	5,272	5,011	4,952	4,996	4,866	4,704	4,562	
	進学者数	大学	1,807	1,715	1,806	1,828	1,774	1,803	1,784	1,778	1,848	1,778
		短期大学	648	605	614	531	566	531	497	455	421	371
		専門学校	1,074	1,030	1,037	1,105	932	934	1,029	1,009	963	933
	進学率 （現役）	大学	32.6	32.6	34.4	34.7	35.4	36.4	35.7	36.5	39.3	39.0
		短期大学	11.7	11.5	11.7	10.1	11.3	10.7	9.9	9.4	8.9	8.1
専門学校		19.4	19.6	19.7	21.0	18.6	18.9	20.6	20.7	20.5	20.5	
鹿児島	卒業者数	8,167	7,758	7,652	7,502	7,382	7,285	7,286	7,094	6,900	6,740	
	進学者数	大学	2,092	2,037	2,044	2,046	2,109	2,141	2,120	2,141	2,145	2,247
		短期大学	1,281	1,174	1,155	1,167	1,086	1,071	1,019	909	904	840
		専門学校	1,968	1,796	1,856	1,775	1,765	1,624	1,730	1,686	1,783	1,725
	進学率 （現役）	大学	25.6	26.3	26.7	27.3	28.6	29.4	29.1	30.2	31.1	33.3
		短期大学	15.7	15.1	15.1	15.6	14.7	14.7	14.0	12.8	13.1	12.5
専門学校		24.1	23.2	24.3	23.7	23.9	22.3	23.7	23.8	25.8	25.6	
沖縄	卒業者数	7,500	7,296	7,368	7,127	7,425	7,211	7,314	7,314	6,909	6,919	
	進学者数	大学	2,488	2,323	2,492	2,369	2,508	2,485	2,612	2,837	2,645	2,914
		短期大学	495	481	557	526	524	530	474	420	403	403
		専門学校	2,204	2,070	2,207	2,226	2,121	2,083	2,014	2,113	2,198	2,066
	進学率 （現役）	大学	33.2	31.8	33.8	33.2	33.8	34.5	35.7	38.8	38.3	42.1
		短期大学	6.6	6.6	7.6	7.4	7.1	7.3	6.5	5.7	5.8	5.8
専門学校		29.4	28.4	30.0	31.2	28.6	28.9	27.5	28.9	31.8	29.9	

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業者数：高等学校卒業した数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した数

・進学率（現役）：進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業者数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

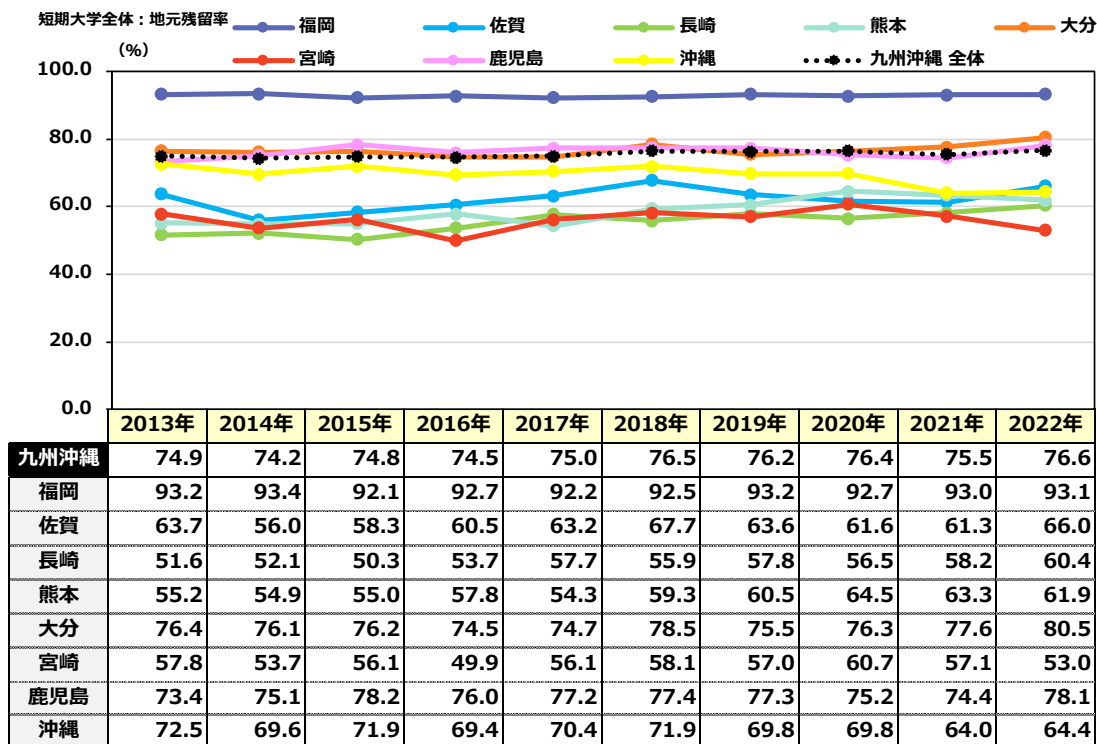
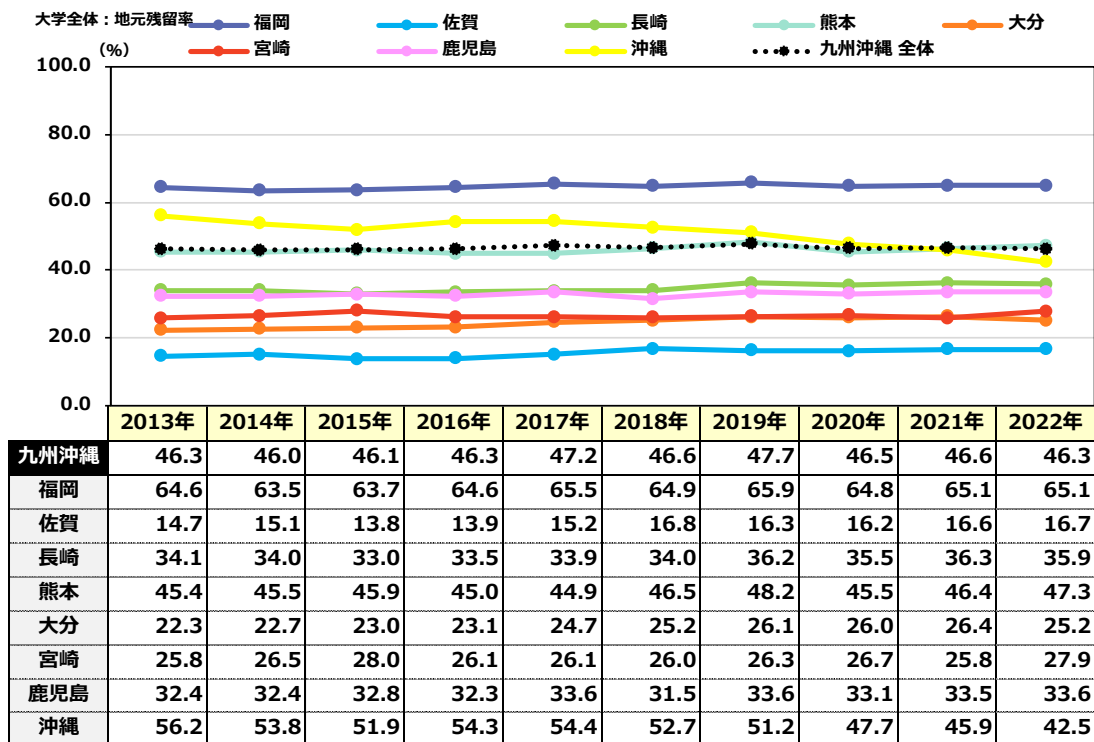
※専門学校＝専修学校専門課程 -学生確保(資料) -30-

地元残留率の推移（全体：九州沖縄：2013～2022年）

■ 大学は、2013年46.3%→2022年46.3%（変動なし）

短期大学は、2013年74.9%→2022年76.6%（1.7ポイント上昇）

- ・ 大学で上昇率が高いのは、大分県（2013年22.3%→2022年25.2%、2.9ポイント上昇）。
- ・ 短期大学で上昇率が高いのは、長崎県（2013年51.6%→2022年60.4%、8.8ポイント上昇）。



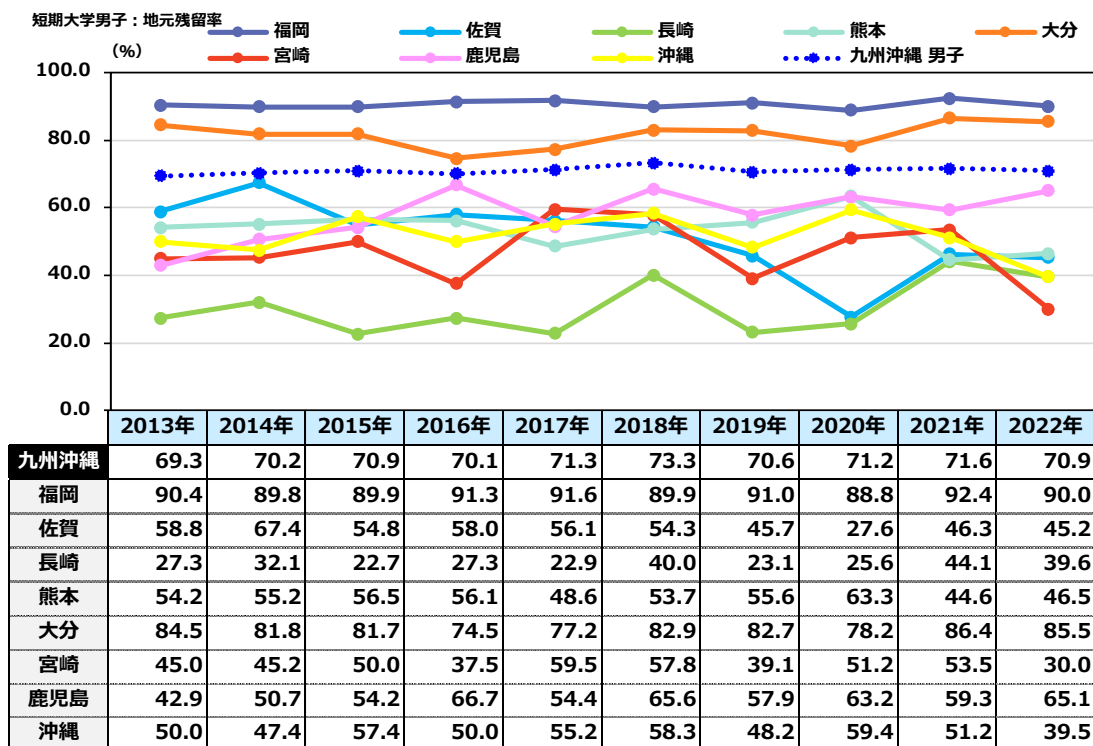
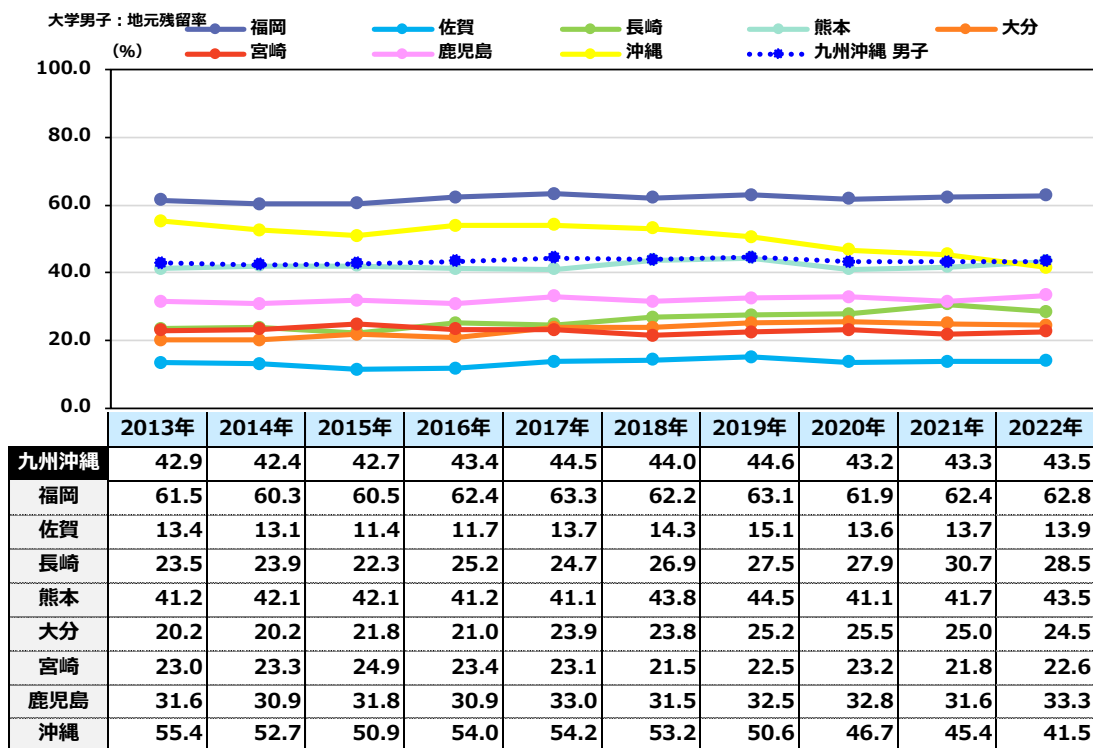
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・ 残留率：自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）

地元残留率の推移（男子：九州沖縄：2013～2022年）

■ 大学は、2013年42.9%→2022年43.5%（0.6ポイント上昇）
 短期大学は、2013年69.3%→2022年70.9%（1.6ポイント上昇）

- ・ 大学で上昇率が高いのは、長崎県（2013年23.5%→2022年28.5%、5.0ポイント上昇）。
- ・ 短期大学で上昇率が高いのは、鹿児島県（2013年42.9%→2022年65.1%、22.2ポイント上昇）。



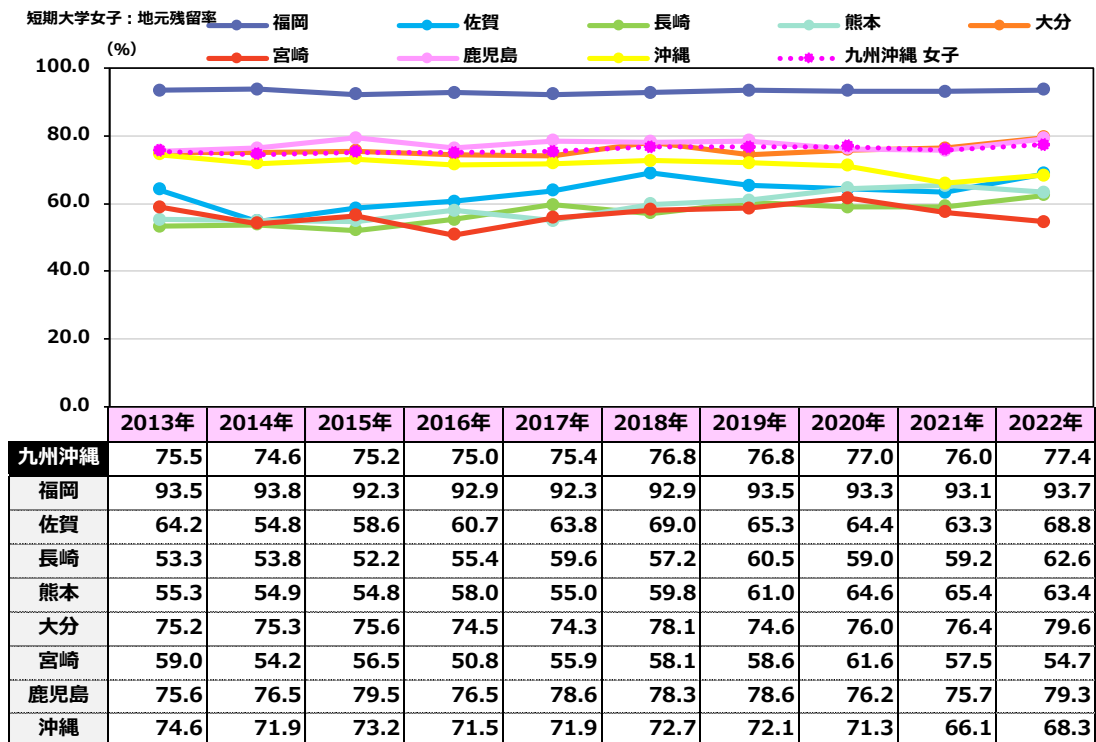
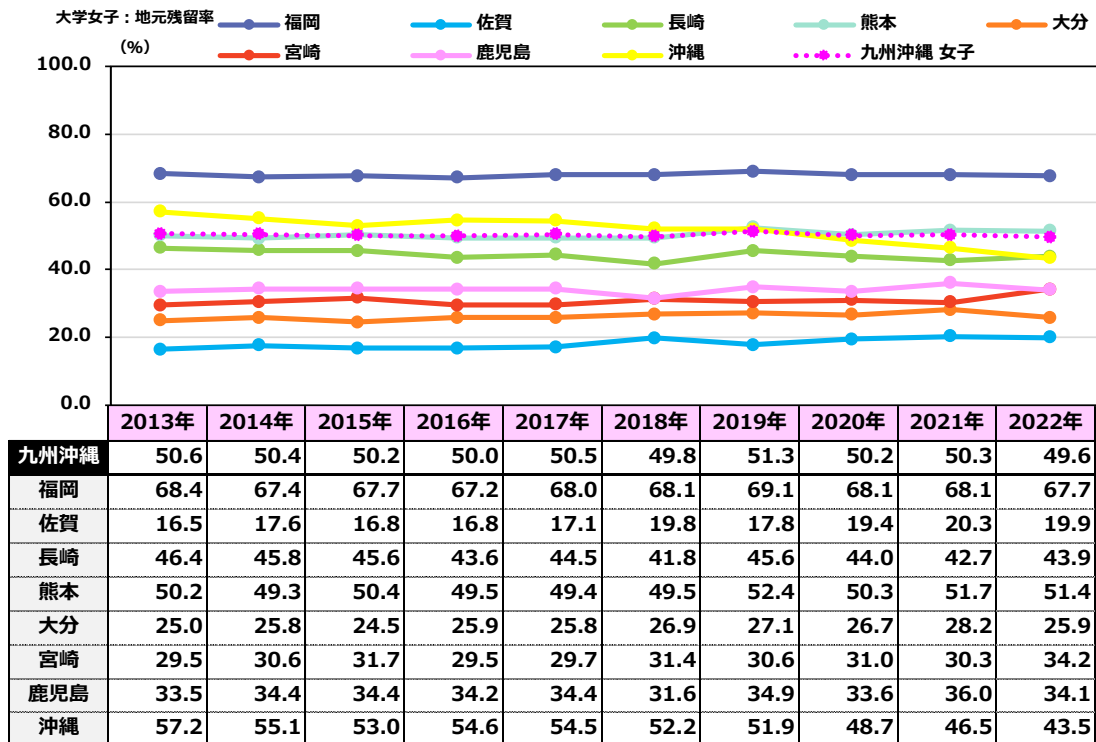
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・ 残留率：自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）

地元残留率の推移（女子：九州沖縄：2013～2022年）

■ 大学は、2013年50.6%→2022年49.6%（1.0ポイント低下）
 短期大学は、2013年75.5%→2022年77.4%（1.9ポイント上昇）

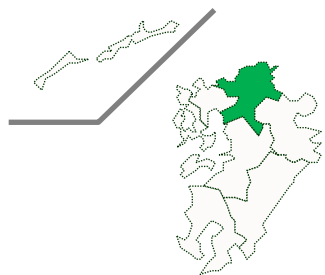
- ・ 大学で上昇率が高いのは、宮崎県（2013年29.5%→2022年34.2%、4.7ポイント上昇）。
- ・ 短期大学で上昇率が高いのは、長崎県（2013年53.3%→2022年62.6%、9.3ポイント上昇）。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・ 残留率：自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）

福岡県



学校数

大学 : 35 (国立 3・公立 4・私立 28)
 短期大学 : 18 (私立 18)
 専門学校 : 140 (国立 1・私立 139)

卒業者数

2013年42,908人→2022年39,944人 (2,964人減少)

進学者数

大学 : 2013年19,141人→2022年20,511人 (1,370人増加)
 短期大学 : 2013年 2,613人→2022年 1,838人 (775人減少)
 専門学校 : 2013年 6,802人→2022年 6,966人 (164人増加)

進学率(現役)

大学 : 2013年44.6%→2022年51.3% (6.7ポイント上昇)
 短期大学 : 2013年 6.1%→2022年 4.6% (1.5ポイント低下)
 専門学校 : 2013年15.9%→2022年17.4% (1.5ポイント上昇)

残留率

大学 : 2013年64.6%→2022年65.1% (0.5ポイント上昇)
 短期大学 : 2013年93.2%→2022年93.1% (0.1ポイント低下)

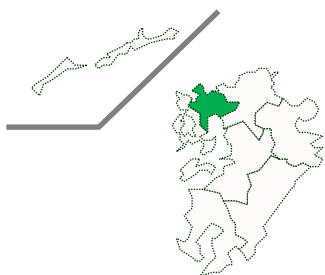
入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位佐賀 (1,341人)、2位熊本 (1,233人)、3位長崎 (1,157人)
 短期大学 : 1位長崎 (122人)、2位熊本・大分 (121人)

入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位東京 (1,401人)、2位熊本 (689人)、3位佐賀 (665人)
 短期大学 : 1位大分 (29人)、2位東京 (21人)、3位佐賀 (18人)

佐賀県



学校数

大学 : 2 (国立 1・私立 1)
 短期大学 : 3 (私立 3)
 専門学校 : 22 (公立 1・私立 21)

卒業者数

2013年8,519人→2022年7,440人 (1,079人減少)

進学者数

大学 : 2013年2,995人→2022年3,087人 (92人増加)
 短期大学 : 2013年 485人→2022年 314人 (171人減少)
 専門学校 : 2013年1,515人→2022年1,287人 (228人減少)

進学率(現役)

大学 : 2013年35.2%→2022年41.5% (6.3ポイント上昇)
 短期大学 : 2013年 5.7%→2022年 4.2% (1.5ポイント低下)
 専門学校 : 2013年17.8%→2022年17.3% (0.5ポイント低下)

残留率

大学 : 2013年14.7%→2022年16.7% (2.0ポイント上昇)
 短期大学 : 2013年63.7%→2022年66.0% (2.3ポイント上昇)

入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位福岡 (665人)、2位長崎 (151人)、3位熊本 (86人)
 短期大学 : 1位長崎 (23人)、2位福岡 (18人)、3位鹿児島 (6人)

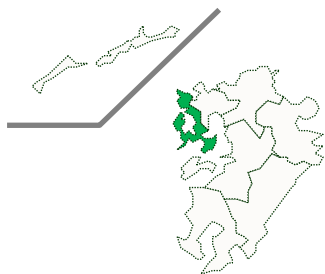
入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位福岡 (1,341人)、2位東京 (354人)、3位長崎 (183人)
 短期大学 : 1位福岡 (95人)、2位大分 (9人)、3位東京 (4人)

- ・学校数 : 大学・短期大学は本部の所在地 (2022年学校基本調査より)
- ・卒業者数 : 高等学校卒業した数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校(※)に進学した数
- ・進学率(現役) : 進学者数(大学・短期大学・専門学校(※))÷高等学校卒業業者数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・残留率 : 自県内(地元)の大学・短期大学入学者数のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者の割合(浪人含)
- ・流入 : 自県内(地元)の大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の高校出身者が大学・短期大学に入学したこと(浪人含)
- ・流出 : 自県内(地元)の高校出身者が大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の大学・短期大学に入学したこと(浪人含)

九州沖縄工リア概要（全体：県別）

長崎県



学校数

大学 : 8 (国立 1・公立 1・私立 6)
 短期大学 : 2 (私立 2)
 専門学校 : 27 (公立 1・私立 26)

卒業生数

2013年14,081人→2022年11,283人(2,798人減少)

進学者数

大学 : 2013年5,121人→2022年4,898人(223人減少)
 短期大学 : 2013年 634人→2022年 484人(150人減少)
 専門学校 : 2013年2,526人→2022年1,855人(671人減少)

進学率(現役)

大学 : 2013年36.4%→2022年43.4%(7.0ポイント上昇)
 短期大学 : 2013年 4.5%→2022年 4.3%(0.2ポイント低下)
 専門学校 : 2013年17.9%→2022年16.4%(1.5ポイント低下)

残留率

大学 : 2013年34.1%→2022年35.9%(1.8ポイント上昇)
 短期大学 : 2013年51.6%→2022年60.4%(8.8ポイント上昇)

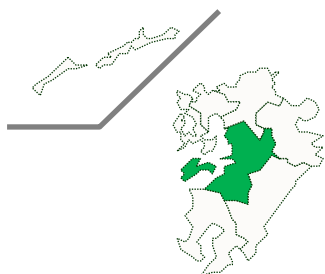
入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位福岡(460人)、2位佐賀(183人)、3位熊本(160人)
 短期大学 : 1位福岡・佐賀(4人)、3位沖縄(2人)

入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位福岡(1,157人)、2位東京(408人)、3位熊本(268人)
 短期大学 : 1位福岡(122人)、2位佐賀(23人)、3位大分(13人)

熊本県



学校数

大学 : 9 (国立 1・公立 1・私立 7)
 短期大学 : 2 (私立 2)
 専門学校 : 46 (公立 4・私立 42)

卒業生数

2013年16,640人→2022年14,388人(2,252人減少)

進学者数

大学 : 2013年6,248人→2022年6,200人(48人減少)
 短期大学 : 2013年 666人→2022年 465人(201人減少)
 専門学校 : 2013年3,181人→2022年2,708人(473人減少)

進学率(現役)

大学 : 2013年37.5%→2022年43.1%(5.6ポイント上昇)
 短期大学 : 2013年 4.0%→2022年 3.2%(0.8ポイント低下)
 専門学校 : 2013年19.1%→2022年18.8%(0.3ポイント低下)

残留率

大学 : 2013年45.4%→2022年47.3%(1.9ポイント上昇)
 短期大学 : 2013年55.2%→2022年61.9%(6.7ポイント上昇)

入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位福岡(689人)、2位鹿児島(372人)、3位宮崎(286人)
 短期大学 : 1位福岡・大分・宮崎・鹿児島(2人)

入学者流出先 ※地元は除く

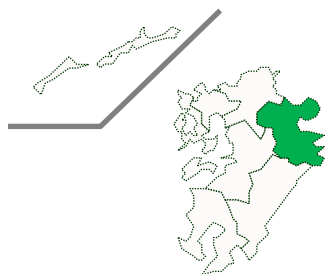
大学 : 1位福岡(1,233人)、2位東京(539人)、3位鹿児島(223人)
 短期大学 : 1位福岡(121人)、2位大分(16人)、3位大阪(8人)

- ・学校数 : 大学・短期大学は本部の所在地 (2022年学校基本調査より)
- ・卒業生数 : 高等学校卒業した数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校(※)に進学した数
- ・進学率(現役) : 進学者数(大学・短期大学・専門学校(※))÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・残留率 : 自県内(地元)の大学・短期大学入学者数のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者の割合(浪人含)
- ・流入 : 自県内(地元)の大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の高校出身者が大学・短期大学に入学したこと(浪人含)
- ・流出 : 自県内(地元)の高校出身者が大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の大学・短期大学に入学したこと(浪人含)

※専門学校=専修学校専門課程

-学生確保(資料) -35-

大分県



学校数

大学 : 5 (国立 1・公立 1・私立 3)
 短期大学 : 5 (公立 1・私立 4)
 専門学校 : 40 (公立 1・私立 39)

卒業者数

2013年11,001人→2022年9,417人 (1,584人減少)

進学者数

大学 : 2013年3,896人→2022年3,858人 (38人減少)
 短期大学 : 2013年 901人→2022年 682人 (219人減少)
 専門学校 : 2013年2,308人→2022年2,019人 (289人減少)

進学率(現役)

大学 : 2013年35.4%→2022年41.0% (5.6ポイント上昇)
 短期大学 : 2013年 8.2%→2022年 7.2% (1.0ポイント低下)
 専門学校 : 2013年21.0%→2022年21.4% (0.4ポイント上昇)

残留率

大学 : 2013年22.3%→2022年25.2% (2.9ポイント上昇)
 短期大学 : 2013年76.4%→2022年80.5% (4.1ポイント上昇)

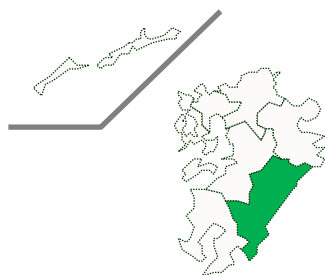
入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位福岡 (286人)、2位宮崎 (218人)、3位熊本 (131人)
 短期大学 : 1位宮崎 (50人)、2位福岡 (29人)、3位鹿児島 (19人)

入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位福岡 (1040人)、2位東京 (280人)、3位熊本 (219人)
 短期大学 : 1位福岡 (121人)、2位東京 (5人)、3位大阪・佐賀 (3人)

宮崎県



学校数

大学 : 7 (国立 1・公立2・私立 4)
 短期大学 : 2 (私立 2)
 専門学校 : 32 (公立 1・私立 31)

卒業者数

2013年11,357人→2022年9,307人 (2,050人減少)

進学者数

大学 : 2013年3,903人→2022年3,759人 (144人減少)
 短期大学 : 2013年 694人→2022年 396人 (298人減少)
 専門学校 : 2013年1,981人→2022年1,671人 (310人減少)

進学率(現役)

大学 : 2013年34.4%→2022年40.4% (6.0ポイント上昇)
 短期大学 : 2013年 6.1%→2022年 4.3% (1.8ポイント低下)
 専門学校 : 2013年17.4%→2022年18.0% (0.6ポイント上昇)

残留率

大学 : 2013年25.8%→2022年27.9% (2.1ポイント上昇)
 短期大学 : 2013年57.8%→2022年53.0% (4.8ポイント低下)

入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位鹿児島 (180人)、2位福岡 (156人)、3位大分 (121人)
 短期大学 : 1位鹿児島 (8人)、2位熊本 (2人)、
 3位北海道・東京・岡山・徳島・大分 (1人)

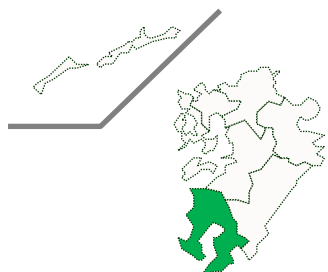
入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位福岡 (837人)、2位東京 (368人)、3位熊本 (286人)
 短期大学 : 1位福岡 (91人)、2位大分 (50人)、3位鹿児島 (29人)

- ・学校数 : 大学・短期大学は本部の所在地 (2022年学校基本調査より)
- ・卒業者数 : 高等学校卒業した数 (全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校(※)に進学した数
- ・進学率(現役) : 進学者数(大学・短期大学・専門学校(※))÷高等学校卒業業者数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・残留率 : 自県内(地元)の大学・短期大学入学者数のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者の割合(浪人含)
- ・流入 : 自県内(地元)の大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の高校出身者が大学・短期大学に入学したこと(浪人含)
- ・流出 : 自県内(地元)の高校出身者が大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の大学・短期大学に入学したこと(浪人含)

九州沖縄工リア概要（全体：県別）

鹿児島県



学校数

大学 : 6 (国立 2・私立 4)
短期大学 : 4 (公立 1・私立 3)
専門学校 : 37 (公立 2・私立 35)

卒業生数

2013年16,447人→2022年13,764人 (2,683人減少)

進学者数

大学 : 2013年4,815人→2022年4,974人 (159人増加)
短期大学 : 2013年1,346人→2022年 896人 (450人減少)
専門学校 : 2013年3,425人→2022年3,003人 (422人減少)

進学率（現役）

大学 : 2013年29.3%→2022年36.1% (6.8ポイント上昇)
短期大学 : 2013年 8.2%→2022年 6.5% (1.7ポイント低下)
専門学校 : 2013年20.8%→2022年21.8% (1.0ポイント上昇)

残留率

大学 : 2013年32.4%→2022年33.6% (1.2ポイント上昇)
短期大学 : 2013年73.4%→2022年78.1% (4.7ポイント上昇)

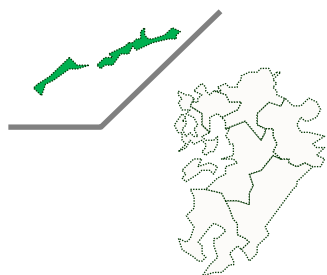
入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位福岡 (239人)、2位熊本 (223人)、3位宮崎 (216人)
短期大学 : 1位宮崎 (29人)、2位熊本 (6人)、3位沖縄 (4人)

入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位福岡 (1,132人)、2位東京 (583人)、3位熊本 (372人)
短期大学 : 1位福岡 (88人)、2位東京 (24人)、3位大分 (19人)

沖縄県



学校数

大学 : 8 (国立 1・公立3・私立 4)
短期大学 : 2 (私立 2)
専門学校 : 55 (私立 55)

卒業生数

2013年14,970人→2022年13,820人 (1,150人減少)

進学者数

大学 : 2013年5,156人→2022年5,674人 (518人増加)
短期大学 : 2013年 530人→2022年 445人 (85人減少)
専門学校 : 2013年3,953人→2022年3,576人 (377人減少)

進学率（現役）

大学 : 2013年34.4%→2022年41.1% (6.7ポイント上昇)
短期大学 : 2013年 3.5%→2022年 3.2% (0.3ポイント低下)
専門学校 : 2013年26.4%→2022年25.9% (0.5ポイント低下)

残留率

大学 : 2013年56.2%→2022年42.5% (13.7ポイント低下)
短期大学 : 2013年72.5%→2022年64.4% (8.1ポイント低下)

入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位鹿児島 (83人)、2位福岡 (62人)、3位北海道 (51人)
短期大学 : 1位大阪 (2人)、2位神奈川・静岡・佐賀 (1人)

入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位東京 (1,151人)、2位福岡 (491人)、3位大阪 (397人)
短期大学 : 1位福岡 (40人)、2位東京 (30人)、3位大阪 (21人)

- ・学校数 : 大学・短期大学は本部の所在地 (2022年学校基本調査より)
- ・卒業生数 : 高等学校卒業した数 (全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校(※)に進学した数
- ・進学率(現役) : 進学者数(大学・短期大学・専門学校(※))÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・残留率 : 自県内(地元)の大学・短期大学入学者数のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者の割合(浪人含)
- ・流入 : 自県内(地元)の大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の高校出身者が大学・短期大学に入学したこと(浪人含)
- ・流出 : 自県内(地元)の高校出身者が大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の大学・短期大学に入学したこと(浪人含)

※専門学校=専修学校専門課程

-学生確保(資料) -37-

九州共立大学
スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科（仮称）」
設置に係る人材需要の見通し調査
（設置構想についての人材需要アンケート調査）
報告書

2023（令和5）年3月
株式会社高等教育総合研究所

九州共立大学
スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」
設置に係る人材需要の見通し調査
(設置構想についての人材需要アンケート調査)

報告書 目次

1. 人材需要アンケート調査 実施概要	3
2. 人材需要アンケート調査 集計結果	4
3. 人材需要アンケート調査 集計結果ポイント	12
(添付資料)	14
人材需要アンケート調査用紙(紙方式)	15
スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」概要(紙方式)	17
人材需要アンケート調査回答画面(Web方式)	18

1. 人材需要アンケート調査 実施概要

調査対象	<p>九州共立大学が2024(令和6)年度、スポーツ学部を設置構想中の「こどもスポーツ教育学科(仮称・設置構想中)」が養成する人材の採用が見込まれる、以下の人事採用担当者に人材需要アンケート調査の回答を依頼した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 九州共立大学スポーツ学部卒業生採用実績先 九州・沖縄地方、山口県の地方自治体(各県庁、福岡県内の全市町村、山口県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県の市庁) 九州・沖縄地方、山口県の国立・私立中高 福岡県内の学童または学童運営企業 スポーツイベント会社(主催実績がある企業を含む) スポーツ関連メーカー スポーツクラブ/教室または運営企業 <p>以上、合計1,002箇所にてアンケート調査用紙を送付した。</p>
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ●回答元の基本情報(業種、教育機関の場合に運営する学校種、本社・主たる事業所等所在地、従業員・職員規模) ●九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」が養成する人材のニーズ、採用意向 <p>全8問で主に選択肢式(一部記述)。</p>
調査時期	2023(令和5)年2月
調査方法	<p>調査対象先の人事・採用担当者宛に依頼状・人材需要アンケート調査用紙・スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」概要・返送用封筒を各1部送付した(依頼状にはWEB回答用サイトへのURL・QRコードを記載)。ご協力いただける場合は、紙方式・WEB方式のいずれかのみで回答いただいた。</p>
回答件数	273箇所(回収率27.2%)

2. 人材需要アンケート調査 集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 貴機関・貴施設・貴社の種類・業種としてあてはまるものをお答えください。(最もあてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	教育機関	52	19.0%
2	スポーツ関連施設	34	12.5%
3	学童・放課後児童クラブ	5	1.8%
4	メーカー(スポーツ用品等)	4	1.5%
5	スポーツイベント会社	6	2.2%
6	学習支援業	2	0.7%
7	地方自治体	91	33.3%
8	その他	79	28.9%
	無回答	0	0.0%
合計		273	100.0%

※1: 主な業種がイベント業以外の場合の記載内容は別紙

※2: その他の場合の記載内容は別紙

問2 <問2は問1で「教育機関」とされた場合、お答えください>貴機関が設置されている学校種をすべてお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

選択項目		回答数	回答率
1	小学校	17	32.7%
2	中学校	37	71.2%
3	高等学校	34	65.4%
4	中等教育学校	2	3.8%
5	幼稚園	19	36.5%
6	義務教育学校	0	0.0%
7	大学	6	11.5%
8	その他	22	42.3%

※複数回答の結果。回答率=各回答数÷問1で「教育機関」を選択した52箇所)

問3 貴機関・貴施設・貴社の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	福岡県	123	45.1%
2	佐賀県	12	4.4%
3	長崎県	16	5.9%
4	熊本県	21	7.7%
5	大分県	20	7.3%
6	宮崎県	14	5.1%
7	鹿児島県	26	9.5%
8	沖縄県	18	6.6%
9	山口県	20	7.3%
10	東京都	1	0.4%
11	大阪府	0	0.0%
12	その他	2	0.7%
	無回答	0	0.0%
合計		273	100.0%

問4 貴機関・貴施設の職員数、貴社の従業員数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	～99人	110	40.3%
2	100～299人	60	22.0%
3	300～499人	34	12.5%
4	500～999人	41	15.0%
5	1,000～2,999人	16	5.9%
6	3,000～9,999人	11	4.0%
7	10,000人～	1	0.4%
	無回答	0	0.0%
合計		273	100.0%

問5以降は別紙・九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」概要を確認の上、回答を求めた。

問5 九州共立大学が設置構想中のスポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	ニーズは極めて高い	31	11.4%
2	ニーズはある程度高い	148	54.2%
3	ニーズはあまりない	21	7.7%
4	ニーズは全くない	0	0.0%
5	わからない	71	26.0%
	無回答	2	0.7%
合計		273	100.0%

問6 九州共立大学が設置構想中のスポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」が養成する人材を、貴機関・貴施設・貴社において採用したいと思われませんか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	採用したい	74	27.1%
2	採用しない	20	7.3%
3	わからない	178	65.2%
	無回答	1	0.4%
合計		273	100.0%

問7 <問6で「採用したい」とされた場合、お答えください> 九州共立大学が設置構想中のスポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」が養成する人材について、よろしければ採用可能な人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	人数合計
1	1名	28	28
2	2名	24	48
3	3名	7	21
4	4名	2	8
5	5名	7	35
6	6名以上	1	6
	無回答	5	-
合計		74	146

問8 九州共立大学が設置構想中のスポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

※45箇所から回答を得た。

回答内容	
1	素晴らしい指導者の育成を期待します。
2	本学部卒業生が我々の様な鉄鋼業等の企業を希望する事は少ないと思われる。(募集しても希望なし)ただ、少子化・子供の体力低下やスポーツ離れにおいては良い学科と思う。
3	主体性・コミュニケーション能力・成長意欲がある子とお会いしたいです。
4	もし可能ならば、保健体育以外の免許(公民、地歴など)がとれると採用時に幅が広がると思います
5	「こどもスポーツ教育学科」で培った能力を自動車販売の場で発揮して欲しい。
6	学校の部活動の動向から指導者には需要があると考えています。また、地域に根付くスポーツクラブを作る上でも必要で、私がJrフットサルクラブを運営兼監督していますが、周辺町でのクラブチームなどしたくても指導者不足に悩みもあります。指導者プロ組織とかあったら面白いと考えています。
7	とてもいい学部だと思います。当社もスポーツ系(体育会系)の人材を求めていますのでその際はご縁がありましたらよろしくお願いたします。
8	今後もスポーツ教育において、更に発展していくよう頑張ってください！！
9	小学校の教員等、低年齢の子どもたちの育成のためにがんばってくれる人材が育っていくことを期待しています。子どもが好きで、子どもにより添って行くことに喜びをもつ先生を育ててください。よろしくお願いたします。
10	もしよろしかったら就職希望の方がいましたら、ご紹介いただけましたら幸いです。
11	子ども達の外遊びの減少に伴う体力の低下と、人とかかわる機会の減少に伴う社会性の低下は近年大きな社会的な課題となっています。子ども達の外遊びの代用としてのスポーツは今後益々その需要は高くなると考えられます。こどものスポーツに関して日本はまだ先進国ではありません。スポーツは遊びであるという原則、適切な年代に適切な課題があることをしっかりと理解した指導者を養成して頂ける学部になることを期待します。
12	幼い頃から体操教室や水泳教室へ通うお子さんが増えているように感じます。ですので、保育士資格もとれると幅が広がるのかな、と思いました。
13	ホームページ等で周知することが多くなれば、その分、関心をもつ人、機関も増えるのではないかと思います。
14	放課後等デイサービスを利用されているお子様は軽重様々な障がいをお持ちです。貴校の新設される学科において、障がいをお持ちのお子様への運動教育を深く学んだ人材が社会に輩出されることを期待します。
15	特定のスポーツ指導のみならず、幼児期の子どもたちへの幅広い運動指導が出来る人材を期待します。弊社は基礎体育指導を中心に行っておりますので、ぜひ興味を持って学んでいただける事を希望します。どうぞよろしくお願いたします。
16	未来の子供たちにスポーツを通して体や心を強くし、これからの社会を生き残っていける子供たちとして育てられる学生として期待している。又、スポーツの世界でもe-sportsなどの新しい分野における育成も出来る学生を育てて頂きたい。
17	地域への部活動移行というように言われていますが、その基盤が地域や、地域スポーツクラブにはあまりない。あるのかもしれないが、学校や教育委員会は分からない状況にある。地域スポーツクラブを活性化させる人材、また、地域と学校をつなぐコーディネーター的人材を育てる学科であれば、しばらくはニーズがあると思います。
18	体力はもちろんですが、子供たちの精神力強化を期待しています。
19	スポーツを通じてコミュニケーション力の高い人材育成を行っていただきたい。
20	問6について 会計年度任用職員(社会教育施設指導員)としての採用を検討したい。
21	コロナにより運動不足も子供たちには多いと聞いております。そのような場面を含め、スポーツを通じて文化や伝統を学ぶチャンスもあると思います。また学校の部活動が少なくなり運動をしたくてもそのような環境がないなどいろいろな課題を解決してくれたら嬉しいです。

回答内容	
22	イベントが好きな方で、積極性や行動力のある方がいらしゃったら採用を検討しても良いかなと思います。心身ともに会社に貢献してくれる学生さんの育成を期待致します。
23	小中一貫教育で体育指導のできる教員の育成を期待します。
24	ニーズが高くなければいけないと私は思います。ただ、まだまだ基礎ができていないので興味を持ってもらえるような社会貢献活動(小学生高学年などに)という地道な活動が必要だと思います。
25	小学校の体育の授業は、単に身体を動かすことだけでなく、身体能力を向上させるような指導や教育が必要だと感じております。また、運動の大切さを子供のうちから身につけることで、大人になっての自身の健康管理にもつながるかと思うところから、この学部の必要性を感じます。
26	現代のスポーツの指導ができる(昔ながらの根性論ではない)人材の育成。
27	心理的発達段階論を徹底して教育する事を考えてください
28	社会性、身体知識
29	職種として弊社で採用するには難しいと思われるが、昨今の深刻な教員不足や部活動を外部コーチに委託する自治体が増える中、より多くの人材を育成し、教育現場に送り出して欲しいと思います。
30	学校の部活動が地域へ移行していく中で地域のスポーツ指導者の育成と受け皿となる機関が増えることを希望します。
31	育成年代に対する知識を学べる機関は素晴らしいと思う。
32	スポーツを通して身に付く、向上心、チャレンジ精神、チームワークは社会において非常に重要になると考えます。弊社としてもそのような人材を補強したく検討しています。
33	教育部門を学んだ人材については高い関心を持っている。推薦枠などはないが、卒業生にはぜひ筑前町役場を受験するよう案内してほしい。
34	日本人としての基本的な部分であるモラルであったり倫理的な部分の教育もお願いしたいです。私もスポーツを通じて適切な人間関係(特に上下関係)を学ぶことができました。これは社会においても、またこれからの日本にとっても大事な事ですので、モラルを兼ね備えた人を一人でも多く世に出していただければ幸いです。
35	子供さんに正しいトレーニングのありかたなど、その課程にあつた指導による子供さんの育成
36	今後の発展に期待いたします。
37	ユーモアな発想があり、社会的コミュニケーションをとれる人材の育成を期待します。
38	スポーツを通じて礼儀正しく、明るいコミュニケーションが取れる人を育成していただきたいです。
39	ニーズはあると考えます。部活動を対応している教職員の働き方が問われています。学校から切り離し放課後活動(部活動、課外授業等)をアウトソーシングしていく事も一つの選択肢になりうると考えます。
40	採用可能な人数については、試験の結果により判断するが、本市においては、リーダーシップを持った職員を求めており、貴学の学科において、そうした人材が育成されるのであれば、採用試験の受験を検討いただきたい
41	スポーツを通して人間性も高める教育を期待しています。
42	AEDの使い方など
43	学校では、体力向上も課題です。運動やスポーツ等に興味を持つことができる子どもたちを育むことができる教員を育成してほしいと思います。
44	私たち一般社団法人〇〇〇〇〇〇は社会的な課題の解決に向けて、『子ども』『スポーツ』『教育』という3つの分野をテーマにした事業を展開している企業です。私たちと共に地域の子どもの運動課題を解決することができるスポーツインストラクターを求めています。(学校教育)と(家庭教育)に加わる(地域教育)のプロとして、地域に貢献することを目指しています。そのため、スポーツの知識を持っていればよい、というわけではなく、子どもに関わる教育分野の知識も併せ持っているスポーツインストラクターが私たちの求める姿です。実際の子ども達と関わるような部分での経験が生きてくる場所がありましたらお手伝いをしたいと考えております。今後ともよろしくお願ひいたします。

回答内容

45

児童教育、スポーツに関する知識という意味では、直接的に活かすことはないですが、課題解決能力、指導力、澁刺さという点では、大いに期待いたします。

問1で「スポーツイベント会社」選択で、主な業種がイベント業以外の場合の記載内容

記載内容	
1	観光・スポーツアクティビティ
2	バスケットボールスクール／チーム
3	ディスプレイ業

問1で「その他」の場合の記載（数字：②③⑤⑨は同じ回答のあった件数）

記載内容	記載内容	記載内容
1 イベント（舞台・パフォーマンス）	24 公務員	47 保育事業
2 イベントプロモーション請負事業	25 広告代理業または広告代理店⑤	48 報道機関
3 イベント企画制作	26 高圧ガス販売	49 放課後等デイサービス②
4 イベント業	27 子ども運動教室	50 放送
5 イベント撮影	28 事務受託業	
6 クラブ経営	29 自動車関連企業	
7 サービス業②	30 自動車販売、整備	
8 シーカヤック、シュノーケルなどのツアー	31 自動車販売会社	
9 スポーツウエアマーク製造	32 商社	
10 スポーツ衣料製造業	33 商社（医療用品）	
11 セキュリティ	34 小売または小売業⑨	
12 バスケットボール協会	35 小売、通信業	
13 プロスポーツクラブ（Jリーグ）	36 情報通信業	
14 マリン事業	37 情報通信業（マスコミ）	
15 医薬品卸売商社	38 清涼飲料水卸売業	
16 医療②	39 製造業③	
17 一般法人	40 青果卸売業	
18 卸売業③	41 葬祭業	
19 冠婚葬祭業	42 第三セクター	
20 観光協会	43 地方公務員	
21 協同組合	44 鉄鋼業	
22 業務用総合食品卸・食品商社・製造	45 電気工事資材総合商社	
23 建具製造業	46 販売会社	

問2で「その他」の場合の記載（数字：②④は同じ回答のあった件数）

記載内容	
1	指定自動車教習所
2	保育園②
3	認可外保育施設
4	特別支援学校④
5	専修学校
6	青少年施設
7	青少年教育施設
8	少年自然の家

問3で「その他」の場合の記載

記載内容	
1	東京都
2	1 1 都道府県 3 4 カ所

3. 人材需要アンケート調査 集計結果ポイント

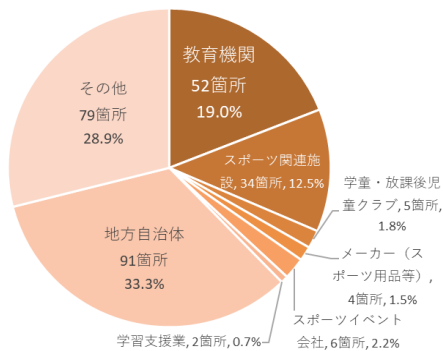
①回答元の基本情報

Point 1 本アンケート調査に対し、福岡県を始めとする九州地方を中心とした地方自治体や教育機関、スポーツ関連施設など、合計273箇所から回答を得た。

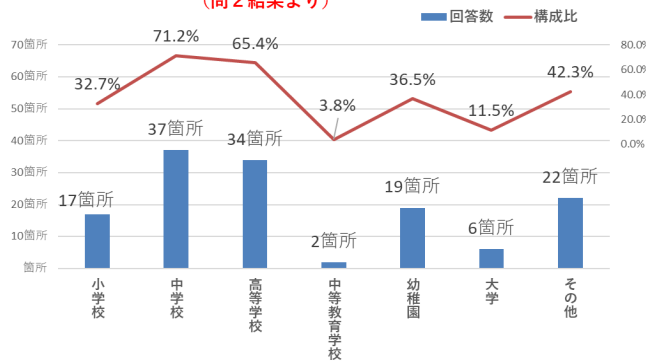
九州共立大学が2024(令和6)年度、スポーツ学部を設置構想中の「こどもスポーツ教育学科(仮称)」の人材需要の見直しを検証するため、人材需要アンケート調査を実施し273箇所から回答を得た。

回答元の種類としては、「地方自治体」91箇所(33.3%)が最も多く、以下「その他」79箇所(28.9%／「その他」内容は10ページ参照)、「教育機関」52箇所(19.0%)、「スポーツ関連施設」34箇所(12.5%)などであった(グラフ1)。「教育機関」の場合、運営する学校として最も多かったのは「中学校」37箇所(71.2%)、以下「高等学校」34箇所(65.4%)、「その他」22箇所(42.3%／「その他」内容は11ページ参照)、「幼稚園」19箇所(36.5%)、小学校17箇所(32.7%であった(グラフ2)。所在地としては「福岡県」123箇所(45.1%)がほぼ半分を占め、以下「鹿児島県」26箇所(9.5%)、「熊本県」21箇所(7.7%)、「山口県」20箇所(7.3%)などであった(グラフ3)。職員・従業員規模は「～99人」110箇所(40.3%)が最も多く、「100～299人」60箇所(22.0%)、「300～499人」34箇所(12.5%)、「500～999人」41箇所(15.0%)、「1,000～2,999人」16箇所(5.9%)などであった(グラフ4)。

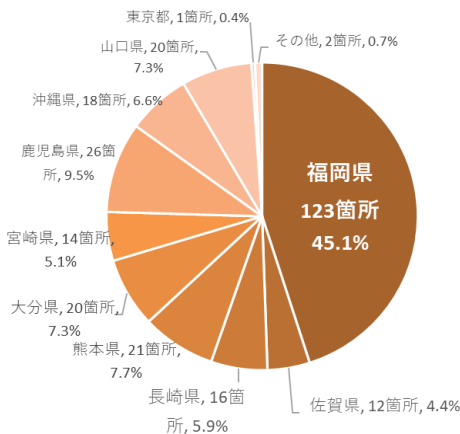
グラフ1： 回答元の種類 (問1結果より)



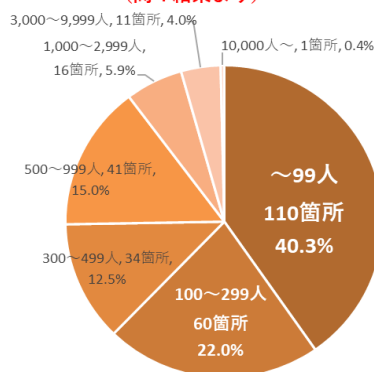
グラフ2： 問1で「教育機関」の場合、運営する学校 (問2結果より)



グラフ3： 回答元の所在地 (問3結果より)



グラフ4： 回答元の職員・従業員規模 (問4結果より)



②九州共立大学「こどもスポーツ教育学科(仮称)」が養成する人材についての社会的ニーズおよび採用ニーズについて

Point 2 九州共立大学「こどもスポーツ教育学科(仮称)」が養成する人材の社会的ニーズについて、6割強の179箇所(65.6%)が認める結果。

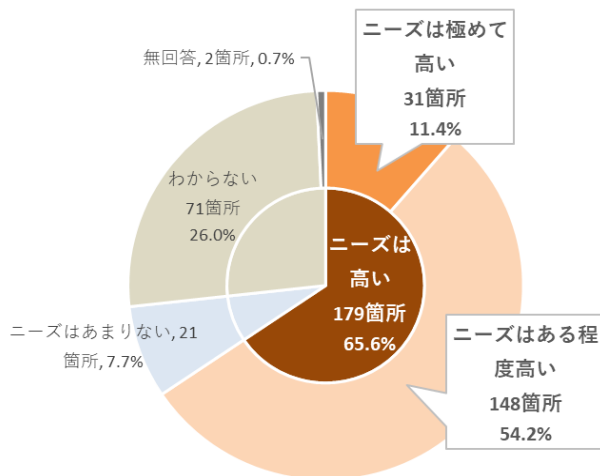
Point 3 九州共立大学「こどもスポーツ教育学科(仮称)」が養成する人材について、74箇所(27.1%)が採用意向を示し、採用可能人数は卒業見込人数50名を大きく上回る146名。

九州共立大学スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」の概要を示した上で、養成する人材の社会的ニーズ、各回答元における採用意向について回答を求めた。

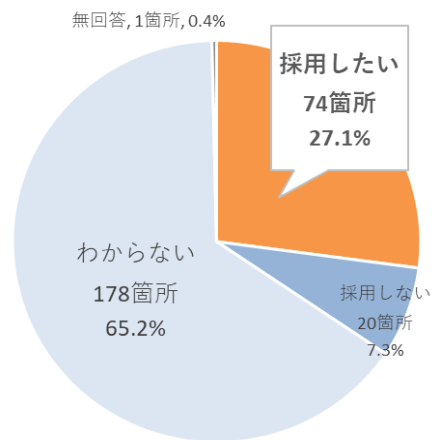
社会的ニーズについては「ニーズは極めて高い」31箇所(11.4%)、「ニーズはある程度高い」148箇所(54.2%)で、合計すると約6割を上回る179箇所(65.6%)が「こどもスポーツ教育学科(仮称)」の社会的ニーズは高いとの認識を示した(グラフ5)。

さらに採用意向については74箇所(27.1%)が「採用したい」とし、その上で提示された採用可能人数は、卒業見込人数(入学定員)50名を大きく上回る合計146名であった(グラフ6・グラフ7)。

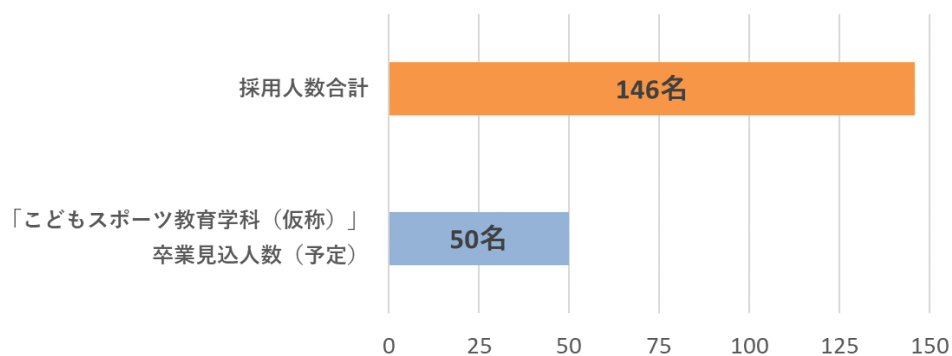
グラフ5：「こどもスポーツ教育学科(仮称)」
社会的ニーズ (問5結果より)



グラフ6：「こどもスポーツ教育学科(仮称)」
養成人材の採用意向 (問6結果より)



グラフ7：「こどもスポーツ教育学科(仮称)」
養成人材の採用人数合計 (問7結果より)



(添付資料)



九州共立大学 スポーツ学部 「こどもスポーツ教育学科(仮称・設置構想中)」

設置構想についての人材需要アンケート調査 (対象：人事採用担当者様)

九州共立大学は2024(令和6)年度、スポーツ学部に新たに「こどもスポーツ教育学科(仮称/入学定員50名)」の設置を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、将来的に卒業生の採用をご検討いただく皆様からさまざまなご意見をお聞きし、さらなる計画の充実を図っていきたいと考えています。回答いただいた皆様から得られた情報は九州共立大学「こどもスポーツ教育学科(仮称)」設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。アンケート調査へのご協力を謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は九州共立大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

記入例を参考にご回答ください。



問1 貴機関・貴施設・貴社の種類・業種としてあてはまるものをお答えください。（最もあてはまるもの1つにマーク）

- 教育機関 スポーツ関連施設 学童・放課後児童クラブ メーカー（スポーツ用品等）
 スポーツイベント会社（主な業種がイベント業以外の場合、業種をご記入ください）
 学習支援業 地方自治体
 その他

問2 <問2は問1で「教育機関」とされた場合、お答えください>貴機関が設置されている学校種をすべてお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校
 幼稚園 義務教育学校 大学
 その他

問3 貴機関・貴施設・貴社の所在地をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県
 沖縄県 山口県 東京都 大阪府 その他

問4 貴機関・貴施設の職員数、貴社の従業員数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- ～99人 100～299人 300～499人 500～999人 1,000～2,999人 3,000～9,999人
 10,000人～





問5以降は別紙・九州共立大学 スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」概要をご覧ください、お答えください。

問5 九州共立大学が設置構想中のスポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われませんか。(あてはまるもの1つにマーク)

- ニーズは極めて高い
 ニーズはある程度高い
 ニーズはあまりない
 ニーズは全くない
 わからない

問6 九州共立大学が設置構想中のスポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」が養成する人材を、貴機関・貴施設・貴社において採用したいと思われませんか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 採用したい
 採用しない
 わからない

問7 <問6で「採用したい」とされた場合、お答えください> 九州共立大学が設置構想中のスポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」が養成する人材について、よろしければ採用可能な人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 1名
 2名
 3名
 4名
 5名
 6名以上(ご支障なければ人数をご記入ください)

問8 九州共立大学が設置構想中のスポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



学
科
の
概
要

- 学 科 名 称 : こどもスポーツ教育学科(仮称)※スポーツ学部の新学科として開設予定
- 開 設 時 期 : 2024(令和6)年4月(予定)
- 開 設 場 所 : 九州共立大学(北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8)
- 修 業 年 限 : 4年
- 入 学 定 員 : 50名(学科収容定員:200名 ※予定)
- 取 得 学 位 : 学士(教育学)
- 養 成 する 人 材 : 体育やスポーツを通じた学校づくり・地域づくりに貢献できる教育実践力を有する人材を育成します。

学
科
の
特
色



児童教育およびスポーツに関する知識に加え、多様化・複雑化する現代社会の課題に対する探求力を備え、自ら課題を解決に導く力を身に付けます。



少人数制によるキャリア支援教育、児童教育学を基盤とした専門教育ならびにスポーツ実技指導を通して、質の高い学士力と確かな実践力を養います。



学部の特性を活かし、スポーツの指導力のみならずスポーツの文化に精通した「体育に強い」小学校教員を養成します。



小学校教諭一種免許状に加え、中学校および高等学校教諭一種免許状(保健体育)の取得が可能で多様な児童・生徒に対応できる教育力を身に付けます。

想
定
さ
れ
る
進
路

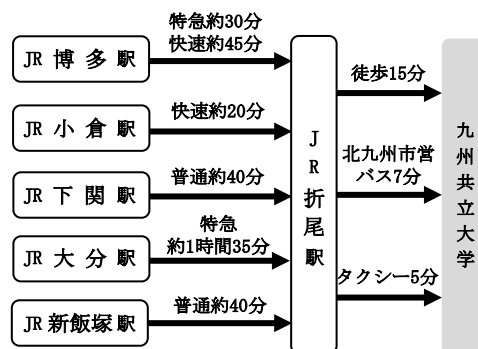
- ◆ 教 育 機 関 小学校、中学校(保健体育)、高等学校(保健体育)など
- ◆ スポーツ関連施設 子ども向け運動クラブ、スポーツクラブ、学童など
- ◆ 民 間 企 業 メーカー(スポーツ用品)、イベント会社、学習支援業など
- ◆ 地 方 自 治 体 児童関連、福祉関連など

初
年
次
学
費
(他
大
学
と
比
較)

大学名/学部名/学科名 (所在地)	入学金	授業料、 施設費等	初年次 合計
九州共立大学 スポーツ学部 こどもスポーツ教育学科 (北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8)	220,000	1,080,000	1,300,000
大阪体育大学 体育学部 スポーツ教育学科 (大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1)	250,000	1,190,000	1,440,000
国士舘大学 体育学部 こどもスポーツ教育学科 (東京都町田市広袴1-1-1)	240,000	1,259,000	1,499,000
環太平洋大学 次世代教育学部 教育経営学科 (岡山県岡山市東区瀬戸町観音寺721)	300,000	1,100,000	1,300,000

※ 九州共立大学 スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」の学費は予定のものです。
※ 他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報です(2022(令和4)年10月13日時点)。
※ いずれの大学も諸会費(委託徴収費等)を含みません。

九
州
共
立
大
学
へ
の
ア
ク
セ
ス



JR折尾駅からバス利用の場合：
JR折尾駅・北口のバス停(浅川經由高須団地行/浅川經由向田営業所行/浅川經由芦屋方面行/浅川經由保養センター行(浅川經由のバスはいずれも可)～九州共立大学前下車

TOP画面

九州共立大学 スポーツ学部
「こどもスポーツ教育学科」
(仮称・設置構想中)

設置構想についての人材需要アンケート調査

(対象：人事採用ご担当者様)

1ページ目（全4ページ）

九州共立大学は2024(令和6)年度、スポーツ学部に新たに「こどもスポーツ教育学科(仮称/入学定員50名)」の設置を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、将来的に卒業生の採用をご検討いただく皆様からさまざまなご意見をお聞きし、さらなる計画の充実を図っていきたくと考えています。回答いただいた皆様から得られた情報は九州共立大学「こどもスポーツ教育学科(仮称)」設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。アンケート調査へのご協力を謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は九州共立大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

ご回答は、お一人様につき一回まででお願いいたします。 **必須**

同意する

次へ

問1・問3・問4

2ページ目 (全4ページ)

問1 貴機関・貴施設・貴社の種類・業種としてあてはまるものをお答えください。 **必須**

<input type="radio"/> 教育機関	<input type="radio"/> スポーツ関連施設
<input type="radio"/> 学童・放課後児童クラブ	<input type="radio"/> メーカー（スポーツ用品等）
<input type="radio"/> スポーツイベント会社	<input type="radio"/> 学習支援業
<input type="radio"/> 地方自治体	<input type="radio"/> その他

問3 貴機関・貴施設・貴社の所在地をお答えください。 **必須**

<input type="radio"/> 福岡県	<input type="radio"/> 佐賀県
<input type="radio"/> 長崎県	<input type="radio"/> 熊本県
<input type="radio"/> 大分県	<input type="radio"/> 宮崎県
<input type="radio"/> 鹿児島県	<input type="radio"/> 沖縄県
<input type="radio"/> 山口県	<input type="radio"/> 東京都
<input type="radio"/> 大阪府	<input type="radio"/> その他

問4 貴機関・貴施設の職員数、貴社の従業員数をお答えください。 **必須**

<input type="radio"/> ~99人	<input type="radio"/> 100~299人
<input type="radio"/> 300~499人	<input type="radio"/> 500~999人
<input type="radio"/> 1,000~2,999人	<input type="radio"/> 3,000~9,999人
<input type="radio"/> 10,000人~	

次へ

戻る

問2は問1で「教育機関」選択時に表示

2ページ目 (全4ページ)

問1 貴機関・貴施設・貴社の種類・業種としてあてはまるものをお答えください。 **必須**

<input checked="" type="radio"/> 教育機関	<input type="radio"/> スポーツ関連施設
<input type="radio"/> 学童・放課後児童クラブ	<input type="radio"/> メーカー（スポーツ用品等）
<input type="radio"/> スポーツイベント会社	<input type="radio"/> 学習支援業
<input type="radio"/> 地方自治体	<input type="radio"/> その他

問2 貴機関が設置されている学校種をすべてお答えください。 **必須**

<input type="checkbox"/> 小学校	<input type="checkbox"/> 中学校
<input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 中等教育学校
<input type="checkbox"/> 幼稚園	<input type="checkbox"/> 義務教育学校
<input type="checkbox"/> 大学	<input type="checkbox"/> その他

問3 貴機関・貴施設・貴社の所在地をお答えください。 **必須**

<input type="radio"/> 福岡県	<input type="radio"/> 佐賀県
<input type="radio"/> 長崎県	<input type="radio"/> 熊本県
<input type="radio"/> 大分県	<input type="radio"/> 宮崎県
<input type="radio"/> 鹿児島県	<input type="radio"/> 沖縄県
<input type="radio"/> 山口県	<input type="radio"/> 東京都
<input type="radio"/> 大阪府	<input type="radio"/> その他

問4 貴機関・貴施設の職員数、貴社の従業員数をお答えください。 **必須**

「こどもスポーツ教育学科（仮称）概要」

3ページ目（全4ページ）

問5以降は以下の九州共立大学 スポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」概要をご覧ください、お答えください。



九州共立大学
KYUSUO KOKURITSU UNIVERSITY

こどもスポーツ教育学科（仮称）

スポーツ学部

2024(令和6)年
4月開設に向け
設置構想中

学 科 の 概 要

- 学 科 名 称 : こどもスポーツ教育学科(仮称) ※スポーツ学部の新学科として開設予定
- 開 設 時 期 : 2024(令和6)年4月(予定)
- 開 設 場 所 : 九州共立大学(北九州市八幡西区白山ケ丘1-8)
- 修 業 年 限 : 4年
- 入 学 定 員 : 50名(学科収容定員:200名 ※予定)
- 取 得 学 位 : 学士(教育学)
- 養 成 する 人 材 : 体育やスポーツを通じて学校づくり・地域づくりに貢献できる教育実践力を育する人材を育成します。

学 科 の 特 徴



児童教育およびスポーツに関する知識に加え、多様化・複雑化する現代社会の課題に対する探求力を備え、自ら課題を解決に導く力を身に付けます。



少人数制によるキャリア支援教育、児童教育学を基礎とした専門教育ならびにスポーツ実技指導を通して、質の高い学士力と確かな実践力を養います。



学部の特徴を活かし、スポーツの指導力のみならずスポーツの文化に精通した「体育に強い」小学校教員を養成します。



小学校教諭一種免許状に加え、中学校および高等学校教諭一種免許状(保健体育)の取得が可能で多様な児童・生徒に対応できる教育力を身に付けます。

社会に与える価値

- ◆ 教 育 機 関 : 小学校、中学校(保健体育)、高等学校(保健体育) など
- ◆ スポーツ関連施設 : 子ども向け運動クラブ、スポーツクラブ、学童など
- ◆ 民 間 企 業 : メーカー(スポーツ用品)、イベント会社、学習支援業など
- ◆ 地 方 自 治 体 : 児童関連、福祉関連など

初任次修費(他大卒業生)

大学名/学部名/学科名 (仮称)	入学金	初年度 授業料	初年度 合計
九州共立大学 スポーツ学部 こどもスポーツ教育学科 (北九州市八幡西区白山ケ丘1-8)	220,000	1,080,000	1,300,000
大塚大学 教育学部 スポーツ教育学科 (茨城県常陸那珂市常盤1-1)	250,000	1,190,000	1,440,000
国士舘大学 体育学部 こどもスポーツ教育学科 (東京都町田市木町1-1)	840,000	1,850,000	1,490,000
徳島大学 教育学部 こどもスポーツ教育学科 (岡山県岡山県東区東山町22)	300,000	1,100,000	1,400,000

※ 九州共立大学 スポーツ学部(仮称)の卒業は予定の通りです。
※ 他大学の学部は各大学のホームページ掲載情報です(2023年10月18日現在)。
※ いずれの大学も、諸金(教科書代等)も含まれません。

九州共立大学へのアクセス



詳細路線からバス利用の場合:
津野駅、北九州バス停【現】西門前駅(徒歩1分) / 津野駅西口(徒歩5分) / 西門前駅(徒歩5分) / 西門前駅西口(徒歩5分) / 西門前駅南口(徒歩5分) / 西門前駅東口(徒歩5分) / 西門前駅北口(徒歩5分) / 西門前駅南口(徒歩5分) / 西門前駅東口(徒歩5分) / 西門前駅北口(徒歩5分)

※上記は構想中の内容のため、今後変更となる場合があります。

次へ

戻る

4ページ目 (全4ページ)

問5 九州共立大学が設置構想中のスポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。

必須

<input type="radio"/> ニーズは極めて高い	<input type="radio"/> ニーズはある程度高い
<input type="radio"/> ニーズはあまりない	<input type="radio"/> ニーズは全くない
<input type="radio"/> わからない	

問6 九州共立大学が設置構想中のスポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」が養成する人材を、貴機関・貴施設・貴社において採用したいと思われますか。 **必須**

<input checked="" type="radio"/> 採用したい	<input type="radio"/> 採用しない
<input type="radio"/> わからない	

問7 九州共立大学が設置構想中のスポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」が養成する人材について、よろしければ採用可能な人数をお答えください。 **必須**

<input type="radio"/> 1名	<input type="radio"/> 2名
<input type="radio"/> 3名	<input type="radio"/> 4名
<input type="radio"/> 5名	<input type="radio"/> 6名以上

問8 九州共立大学が設置構想中のスポーツ学部「こどもスポーツ教育学科(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。 **任意**

送信

戻る